

食の安全に関する消費者の意識調査 結果報告書

平成 23 年 7 月
消費者庁

目 次

食の安全に関する消費者の意識調査	3
調査ポイント	4
第1章 調査概要	7
1. 調査目的	7
2. 調査内容	7
3. 調査対象	7
4. 調査方法	7
5. 調査期間	7
6. 回収数	7
7. 報告書について	8
8. 回答者属性	8
第2章 調査結果	9
第3章 集計表	29
1. 単純集計表	29
2. クロス集計表	34
巻末資料	44

食の安全に関する消費者の意識調査

調査ポイント

食の安全に関する消費者の意識調査（調査ポイント）

平成23年7月
消費者庁

1. 調査目的

福島第一原子力発電所事故により、一部の食品や水道水から放射性物質が検出され、一部地域で出荷制限や摂取制限の指示が行われている。この現状を踏まえ、放射能や食品等の安全に関して、消費者がどのように認識しているか、どのような疑問を持ち、どのような不安を抱いているか、等の意識を把握する。

2. 調査期間・対象・調査方法

平成23年5月30日（月）～平成23年6月5日（日）

調査対象：平成22年度に消費者庁が募集した全国のアンケートモニターのうち、

インターネットモニター1389人（有効回答数787人 回答率56.7%）

調査方法：WEBアンケート調査（インターネット調査）

3. 回答者の属性

性別

回答者	人数(人)	構成比(%)
全体	787	100.0
女性	382	48.5
男性	405	51.5

年齢

回答者	人数(人)	構成比(%)
全体	787	100.0
20歳代（18歳～29歳）	95	12.1
30歳代（30歳～39歳）	143	18.2
40歳代（40歳～49歳）	141	17.9
50歳代（50歳～59歳）	143	18.2
60歳代（60歳～69歳）	132	16.8
70歳代以上	133	16.9

職業

回答者	人数(人)	構成比(%)
全体	787	100.0
正社員（公務員・団体職員含む）	209	26.6
パートタイム従業員、アルバイトなど正社員以外の被雇用者	123	15.6
会社、団体などの役員	16	2.0
自営業（農林漁業、商工サービス業、自由業などを含む）	80	10.2
専業主婦・主夫	180	22.9
学生	23	2.9
無職（専業主婦・主夫を除く）	145	18.4
その他	11	1.4

4. 結果概要

各設問毎については以下のとおり。

問1. 放射線が人体に与える影響について、下から知っているものをいくつでもあげてください。(複数回答)

・外部被曝と内部被曝の違い(83.5%)、放射線の影響の受けやすさ(81.2%)、長期的な放射線による影響(74.7%)の認知度が高い。

問2. あなたは、このように放射性物質を含む食品の出荷制限が行われていることをご存知でしたか。(単一回答)

・内容を知っているという方が過半数(52.0%)。一方で、出荷制限という言葉を知っていても内容を知らない方が45.7%いた。

問3. あなたは、この調査に回答している時点で、日本のどの地域のどのような食品に出荷制限が設定されているかご存知でしたか。(単一回答)

・知っている(35.7%)、もしくは、調べ方が分かっている(33.4%)方が69.1%を占める一方で、知らないし調べ方が分からないという方が30.9%存在。

問4. 「あなたは出荷制限されている食品の品目と地域についての情報をどこから得られていますか。下からいくつでもあげてください。(問3で「知っている」もしくは「調べ方がわかっている」と答えた方のみ、複数回答)

・「テレビやラジオ」がトップ(83.1%)で「インターネット(66.2%)」、「新聞や雑誌(62.5%)」が続く。

問5. あなたは、普段の買物で食品を購入する際に、政府や地方自治体が発表する出荷制限・解除に関する情報を確認していますか。(単一回答)

・必ず、もしくは気づいたら「確認する」方が44.6%。一方で、「売場にあるものは安心だから気にしない」も39.9%を占めた。

問6. あなたは、現在、政府が行っている食品中の放射線物質に関する検査と、その結果に基づく出荷制限の設定・解除についてどう思われますか。下からいくつでもあげてください。(複数回答)

・「検査漏れの可能性がある(45.9%)」、「出荷管理の徹底に不安がある(43.8%)」とある一方で、「出荷制限により市販食品は安全」と考える方がほぼ同数(41.4%)。また、海外での日本産食品の信頼を得るには不十分とする方が30.6%。

問7. あなたは、普段の買物で食品を購入する際に、その食品がどこで生産されたかを気にされますか。下から1つだけ選んでお答えください。(単一回答)

・「気にする(26.9%)」「どちらかといえば気にする(45.4%)」合計で72.3%にも達する。

問8. あなたが、その食品がどこで生産されたかを気にされるのは、どのような理由からでしょうか。下からいくつかもあげてください。(問7で「気にする、どちらかといえば気にする」と答えた方のみ、複数回答)
・最も多い答えは「産地によって品質(味)が異なるから(45.3%)」。次いで、放射性物質への懸念(40.4%)、自己の居住地域などへのこだわり(38.3%)が続く。

問9. あなたは、被災地産食品を積極的に食べることにより、被災地を応援したいと思いますか。下から1つだけ選んでお答えください。(単一回答)
・「応援したい(38.1%)」「どちらかという応援したい(44.0%)」合計で82.1%と、支援に前向きな方が多数であった。

問10. あなたは、放射性物質が検出される食品の品目数や地域の広がり、今後どうなるとお考えですか。下から1つだけ選んでお答えください。(単一回答)
・減少傾向(「どちらかという」と含む)は(28.8%)、現状と変わらない(16.6%)、増加傾向(「どちらかという」と含む)は(45.4%)。現状以上になると考える方が全体の62%を占めた。

5. まとめ

概して、食の安全に関する意識は、男性よりも女性が高い(問2、問3)。また、出荷制限への認知度は70歳以上の年代で高い傾向がみられ(問2)、さらに地域では東北ブロック、関東ブロックで高い傾向にあった(問2、問3)。

○放射線が人体に与える影響や(問1)放射性物質を含む食品の出荷制限(問2、問3)等、全体としては放射性物質や食の安全について一定の認知度があった。しかし食の安全を確保するための検査や措置に対する十分な理解を通じた「安心」にまでは至っていないと考えられる。

○食品を購入する際に、出荷制限情報を確認する方と気にしない方の割合はほぼ拮抗している(問5)。また、放射線物質に関する食品の安全性について信頼する方と不安を抱く方もほぼ拮抗している(問6)。

○現在、消費者庁では被災地及び被災地産食品を積極的に購入する「食べて応援しよう!」に取り組む消費者団体等を支援しているが、このような被災地支援運動については、広範な理解が得られている(問9)。

本件問い合わせ先 消費生活情報課 大森、大槻 電話：03-3507-9179
--

第 1 章 調査概要

1. 調査目的

福島第一原子力発電所事故により、一部の食品や水道水から放射性物質が検出され、一部地域で出荷制限や摂取制限の指示が行われている。この現状を踏まえ、放射能や、食品等の安全に関し、消費者の認識・疑問・不安を意識調査の形で把握することを目的とする。

2. 調査内容

- (1) 放射線が人体に与える影響
- (2) 放射性物質を含む食品の出荷制限
- (3) 食品の出荷制限地域
- (4) 「出荷制限されている食品の品目と地域」の情報源
- (5) 政府や地方自治体が発表する出荷制限・解除に関する情報源
- (6) 食品中の放射性物質に関する検査と、出荷制限の設定・解除
- (7) 普段の買い物における、食品の生産地への関心
- (8) 食品がどこで生産されたか気にする理由
- (9) 被災地野菜を購入することを通じた支援に関する意識
- (10) 放射性物質が検出される食品の品目数や地域の広がり

3. 調査対象

平成 22 年度に消費者庁が募集した全国のアンケートモニターのうち、インターネットモニター 1 3 8 9 人

4. 調査方法

【WEB アンケート調査】

こちらで用意した画面等にインターネットを介してアクセスし、表示画面の指示に従って選択して回答を送信しデータを回収する。

5. 調査期間

平成 23 年 5 月 30 日（月）～ 平成 23 年 6 月 5 日（日）

6. 回収数

- ▼ 配信数 : 1 3 8 9 票
- ▼ 回収数 : 7 8 7 票
- ▼ 回収率 : 5 6 . 7 %

7. 報告書について

- (1) 図表中のNとは、比率算出の基数を表すもので、原則として回答総数（787名）または、分類別の回答者数のことである。
- (2) 百分比（%）は、小数点第二位で四捨五入し、小数点第一位までを算出した。
そのため、比率の合計値が100%にならない場合がある。
- (3) 「[いくつかでも]」と表示のある質問は、2つ以上の複数回答を認めているため、回答計は100%を上回る。
- (4) 集計表の「-」は、回答者が皆無であること、すなわち「0」であったことを示す。

8. 回答者属性

性別

回答者	人数(人)	構成比(%)
全体	787	100.0
女性	382	48.5
男性	405	51.5

年齢

回答者	人数(人)	構成比(%)
全体	787	100.0
20歳代（18歳～29歳）	95	12.1
30歳代（30歳～39歳）	143	18.2
40歳代（40歳～49歳）	141	17.9
50歳代（50歳～59歳）	143	18.2
60歳代（60歳～69歳）	132	16.8
70歳代以上	133	16.9

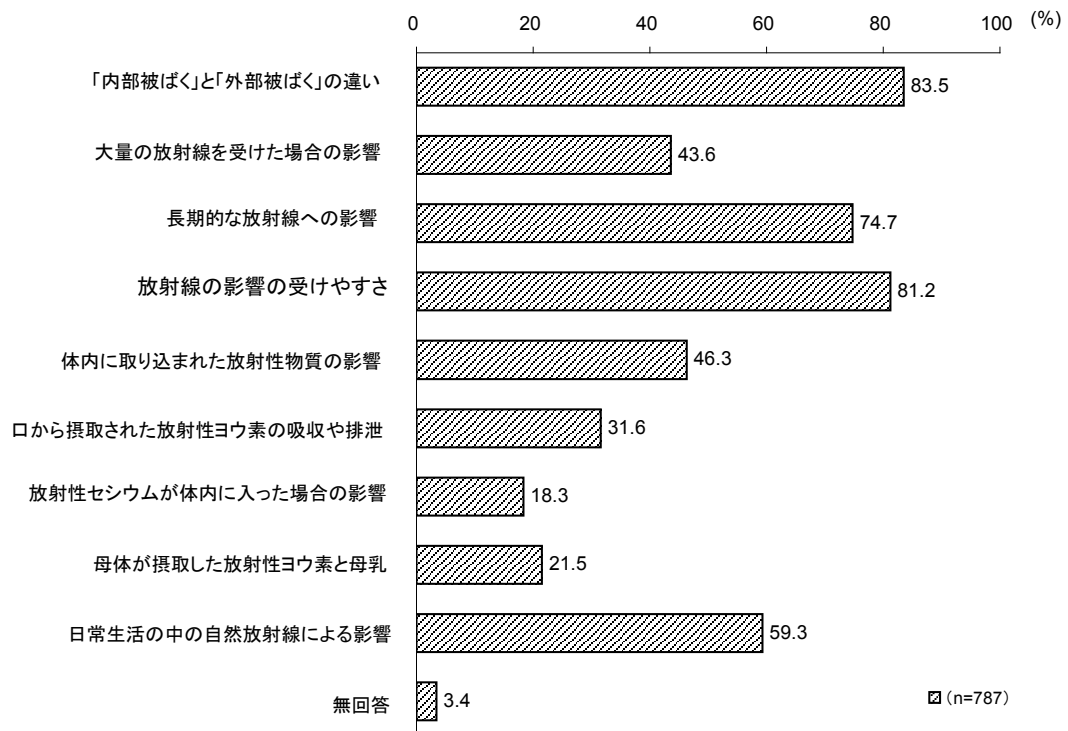
職業

回答者	人数(人)	構成比(%)
全体	787	100.0
正社員（公務員・団体職員含む）	209	26.6
パートタイム従業員、アルバイトなど正社員以外の被雇用者	123	15.6
会社、団体などの役員	16	2.0
自営業（農林漁業、商工サービス業、自由業などを含む）	80	10.2
専業主婦・主夫	180	22.9
学生	23	2.9
無職（専業主婦・主夫を除く）	145	18.4
その他	11	1.4

第2章 調査結果

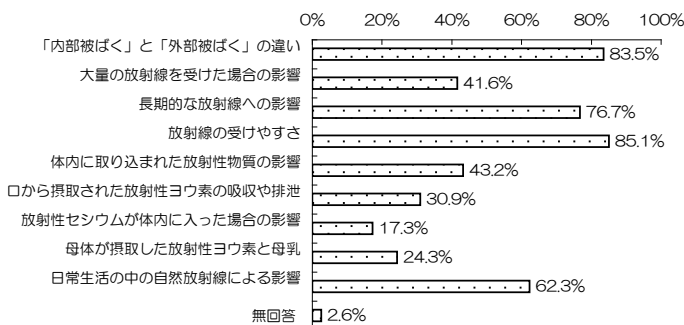
問1 放射線が人体に与える影響について、下から知っているものをいくつでもあげてください。(複数回答)

- ▼ 全体では、「外部被ばくと内部被ばくの違い」と回答した方が最も多く83.5%、次いで、「放射線の受けやすさ」を回答した方が81.2%、次いで、「長期的な放射線への影響」を回答した方が74.7%となっている。

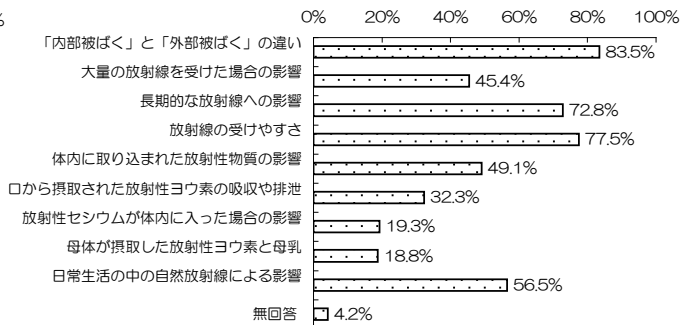


- ▼ 性別では、女性男性ともに「内部被ばくと外部被ばくの違い」を回答した方が最も多く、全体の約8割を占めている。

【女性】

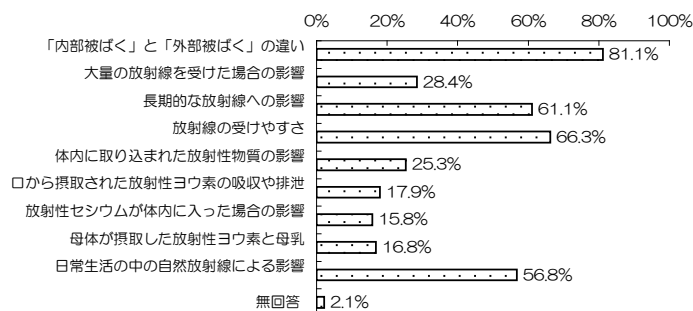


【男性】

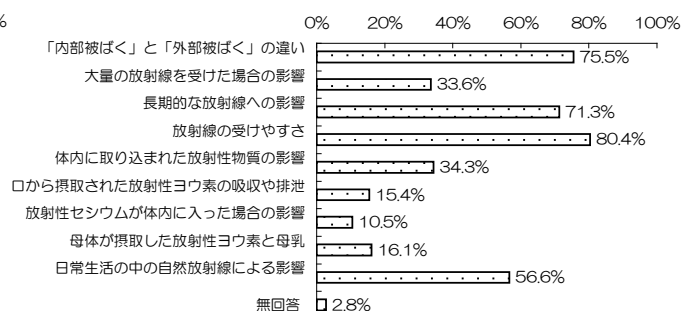


▼ 年代別では、30歳代と70歳以上の年代以外は「内部被ばくと外部被ばくのの違い」と回答した方が最も多く約8割から9割程度占めている。他の年代をみると、「放射線の影響の受けやすさ」と回答した方が最も多くこちらも約8割から9割程度を占めている。

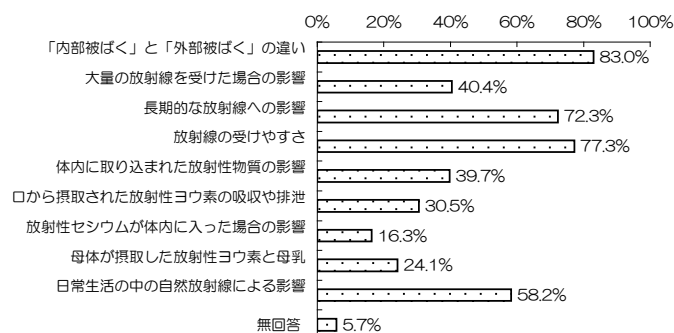
【20歳代】



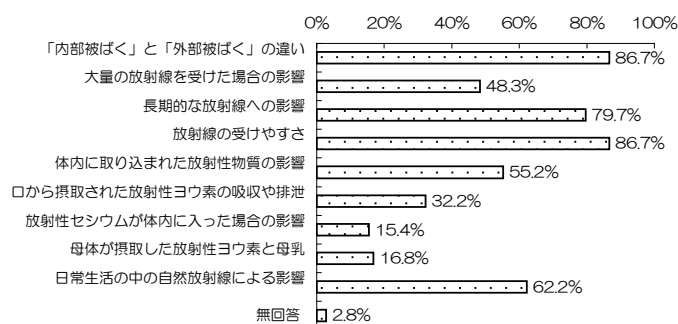
【30歳代】



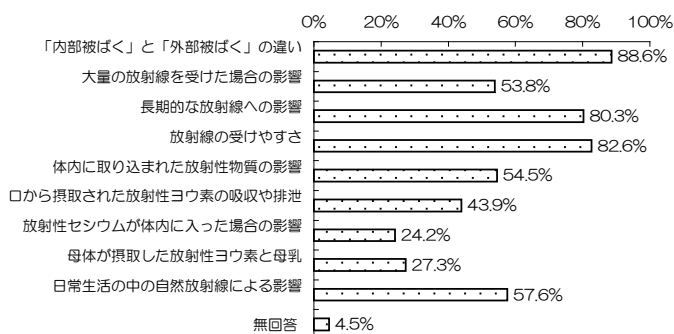
【40歳代】



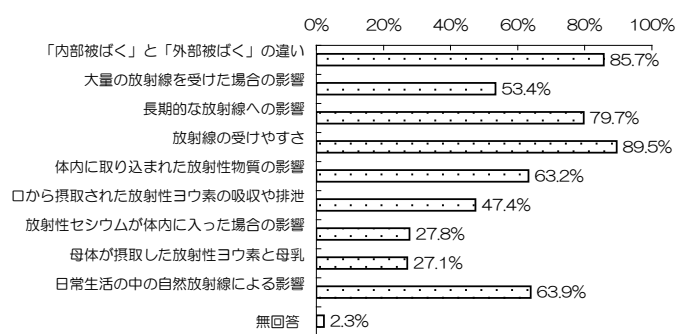
【50歳代】



【60歳代】

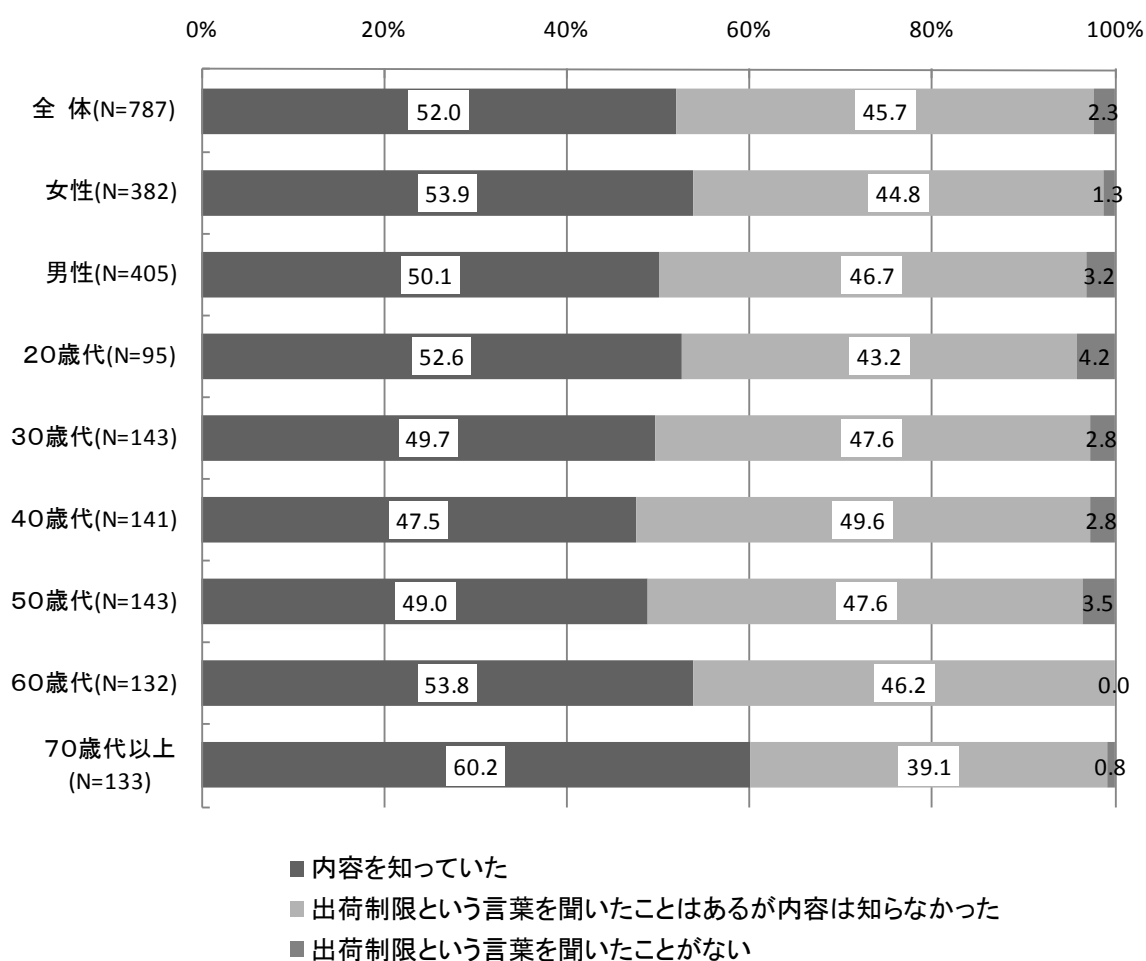


【70歳代以上】



問2 あなたは、このように放射性物質を含む食品の出荷制限が行われていることをご存知でしたか。(単一回答)

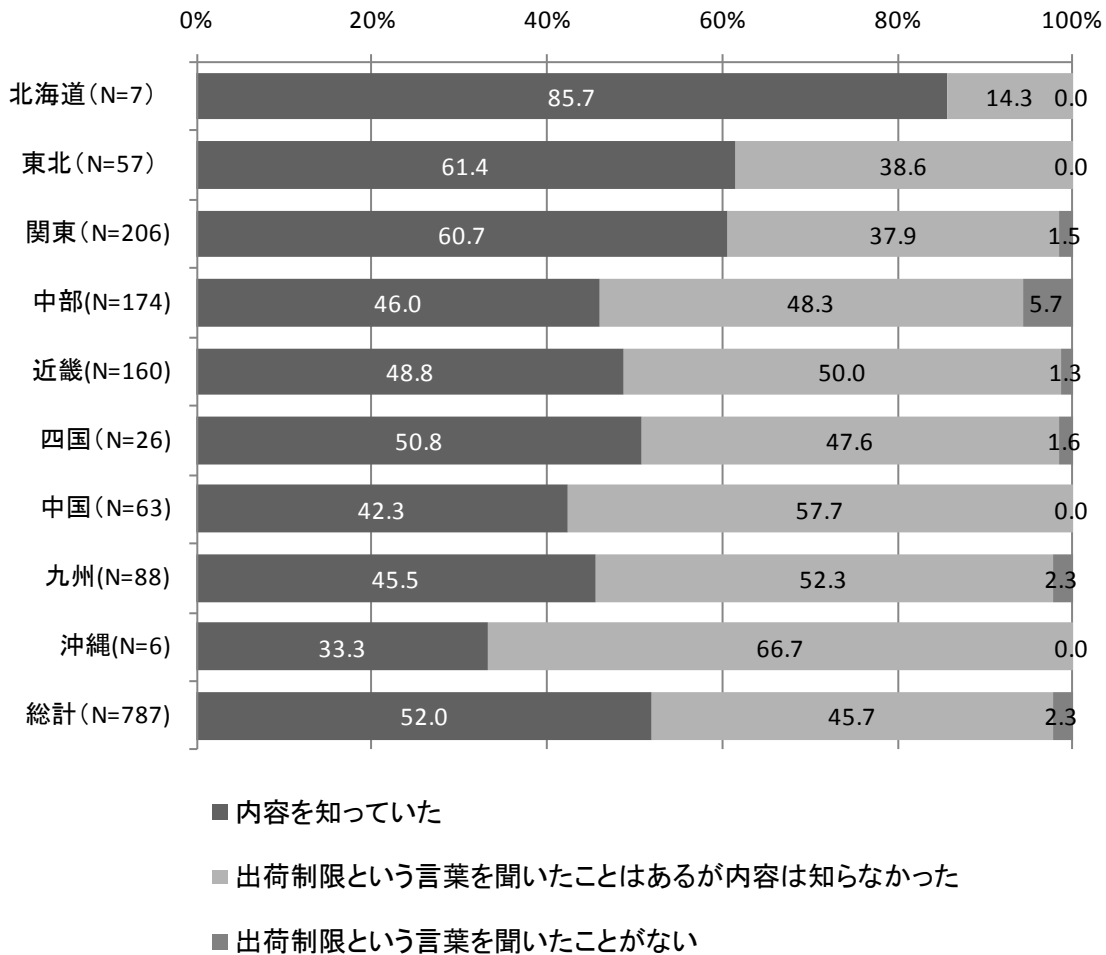
- ▼ 全体では、「内容を知っていた」と回答した方が最も多く 52.0%、反対に「出荷制限という言葉を知ったことがない」と回答した方が 2.3%となっている。
- ▼ 性別では、女性男性ともに「内容を知っていた」と回答した方が全体の半数を超えている。
- ▼ 年代別では、70歳代以上の方が最も割合が高く 60.2%回答しており、他の年代をみても、全体の約5割が「内容を知っていた」と回答している。



(図表中のNは、分類別の回答者数を示す。)

【行政ブロック別】

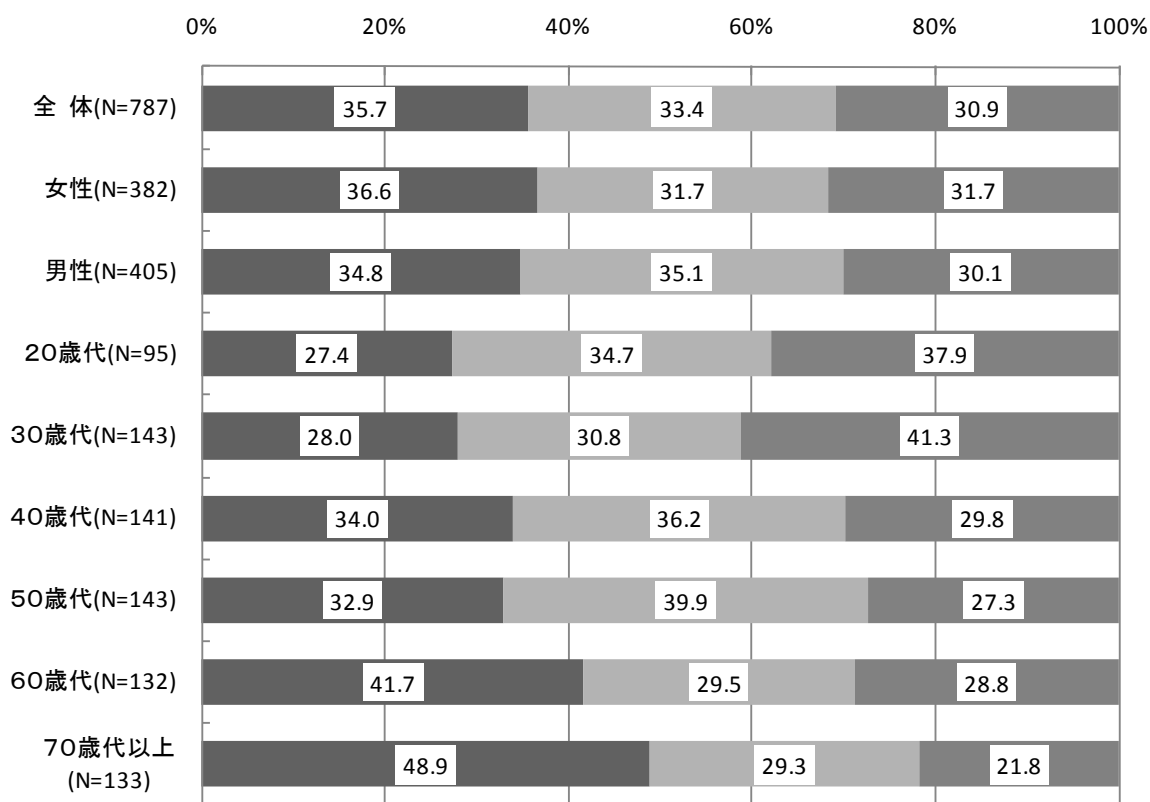
- ▼ 行政ブロック別では、北海道、東北、関東、四国は「内容を知っていた」と回答した方が最も多く半数以上を占めている。他のブロックをみると、「出荷制限という言葉聞いたことがあるが内容は知らなかった」と回答した方が最も多くこちらも半数以上を占めている。



(図表中のNは、分類別の回答者数を示す。)

問3 あなたは、この調査に回答している時点で、日本のどの地域のどのような食品に出荷制限が設定されているかご存知でしたか。(単一回答)

- ▼ 全体では、「出荷制限対象地域・品目の全部または一部を知っている」と回答した方が最も多く35.7%、次いで、「今覚えていないが、どうやって出荷制限対象地域・品目を調べればよいか知っている」と回答した方が33.4%、次いで、「出荷制限対象地域・品目を知らないし、どうやって調べればよいかもわからない」と回答した方が30.9%となっている。
- ▼ 性別では、女性男性ともに「全部または一部を知っている」と回答した方は全体の3割程度である。
- ▼ 年代別では、年代が高くなるにつれ、「全部または一部を知っている」と回答した方の割合が高くなっている。一方、20~30歳代は、「どうやって調べればよいかもわからない」と回答した方が最も高かった。

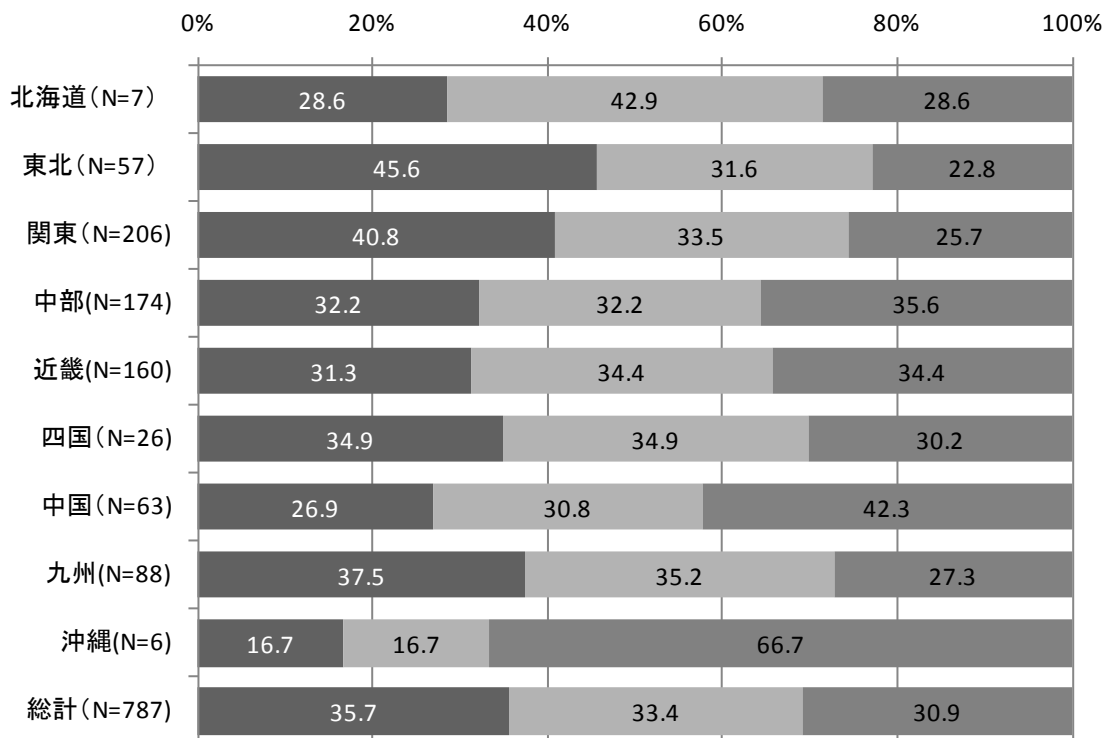


- 出荷制限対象地域・品目の全部または一部を知っている
- 今覚えていないが、どうやって出荷制限対象地域・品目を調べればよいか知っている。
- 出荷制限対象地域・品目を知らないし、どうやって調べればよいかもわからない

(図表中のNは、分類別の回答者数を示す。)

【行政ブロック別】

- ▼ 行政ブロック別では、北海道と沖縄を除き「出荷制限対象地域・品目の全部または一部を知っている」と回答した方が最も多く約3割から4割程度占めている。他のブロックをみると、北海道は「今覚えていないが、どうやって出荷制限対象地域・品目を調べればよいか知っている」と回答した方が最も多く約4割程度を占めている。沖縄は「出荷制限対象地域・品目を知らないし、どうやって調べればよいかもわからない」と回答した方が最も多く約6割を占めている。

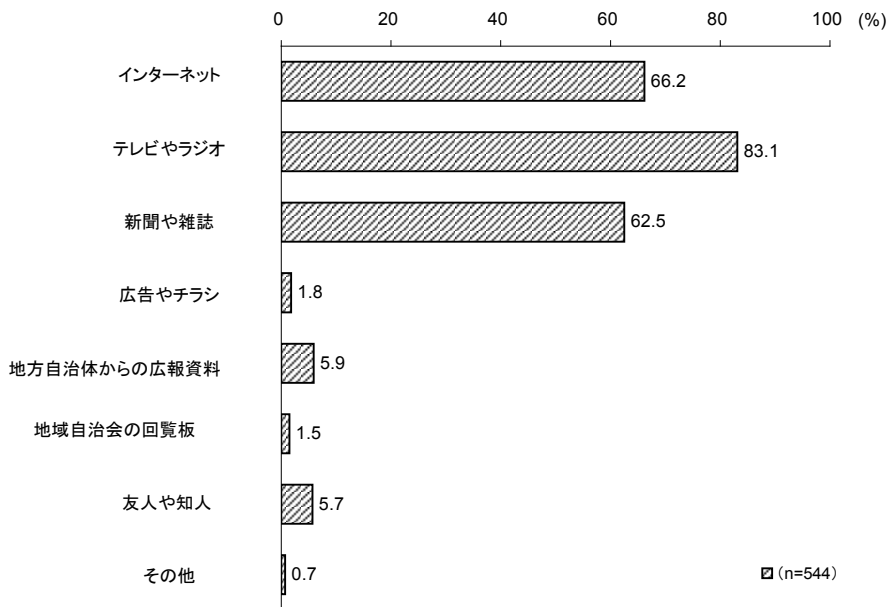


- 出荷制限対象地域・品目の全部または一部を知っている
- 今覚えていないが、どうやって出荷制限対象地域・品目を調べればよいか知っている
- 出荷制限対象地域・品目を知らないし、どうやって調べればよいかもわからない

(図表中のNは、 分類別の回答者数を示す。)

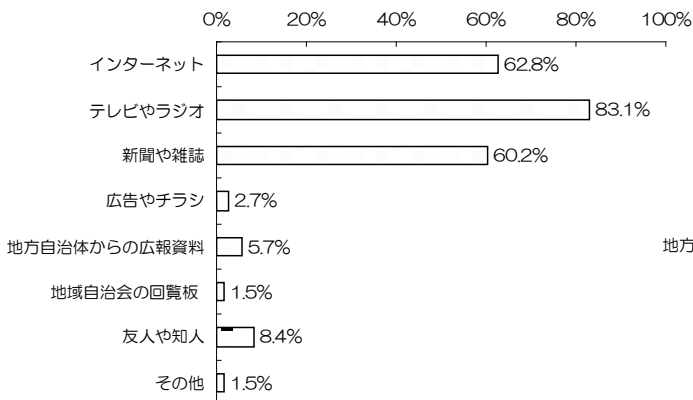
問4 あなたは出荷制限されている食品の品目と地域についての情報をどこから得られていますか。下からいくつでもあげてください。
(問3で「知っている」もしくは「調べ方がわかっている」と答えた方のみ、複数回答)

▼ 全体では「テレビやラジオ」と回答した方が最も多く 83.1%、次いで、「インターネット」と回答した方が 66.2%、次いで、「新聞や雑誌」と回答した方が 62.5%であった。

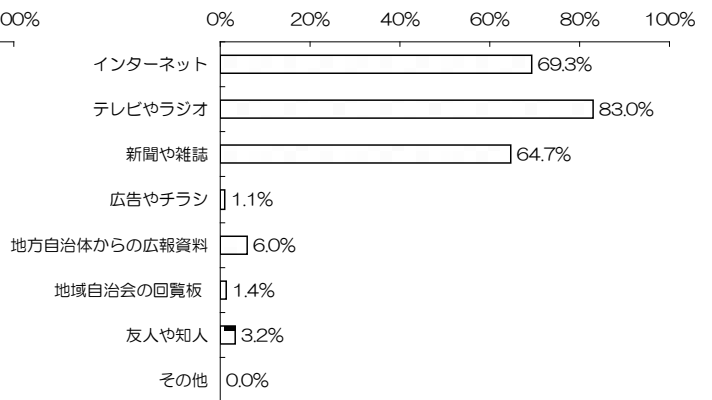


▼ 性別では、女性男性ともに「テレビやラジオ」と回答した方が最も多く、全体の約 8 割を占めている。

【女性】

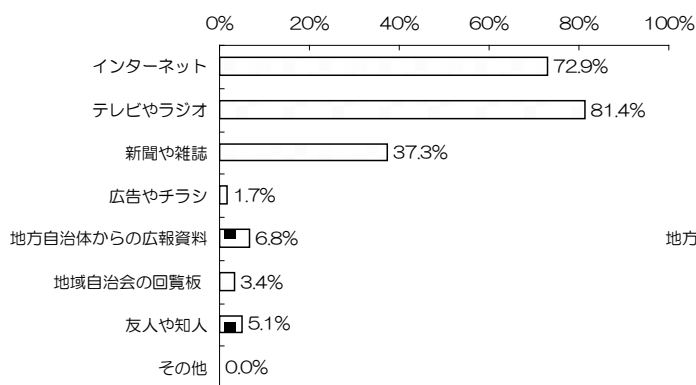


【男性】

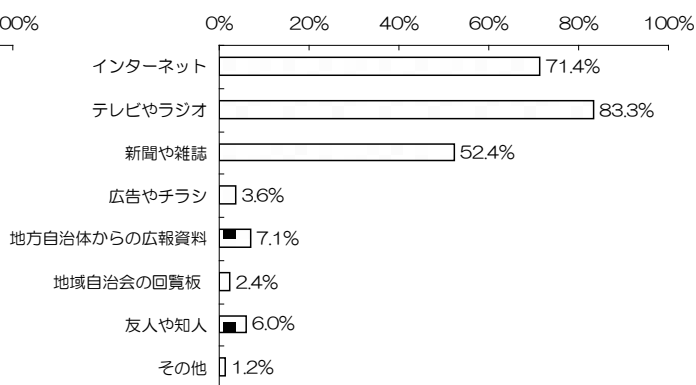


▼ 年代別では、各年代ともに「テレビやラジオ」と回答した方が最も多く、全体の約 8 割を占めている。

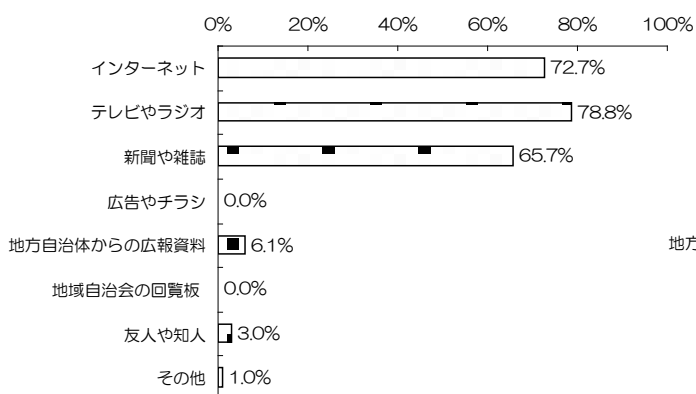
【20 歳代】



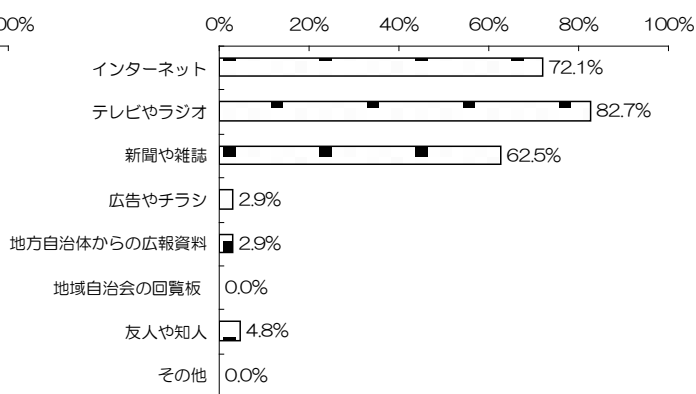
【30 歳代】



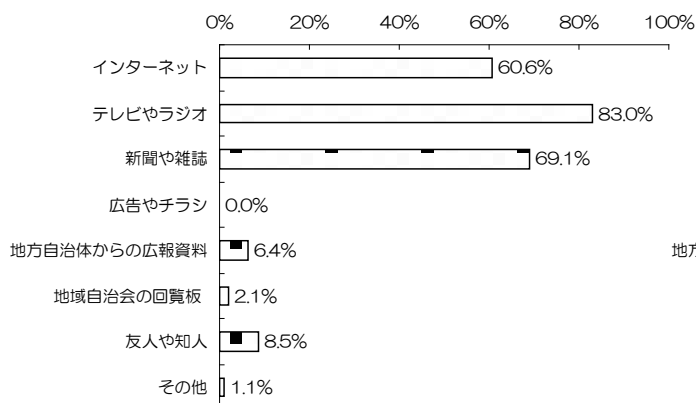
【40 歳代】



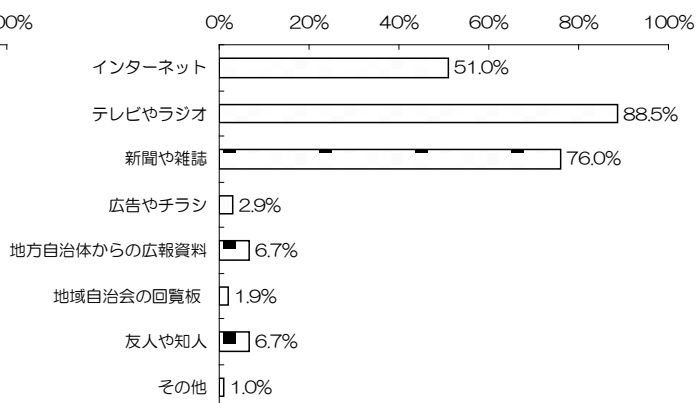
【50 歳代】



【60 歳代】

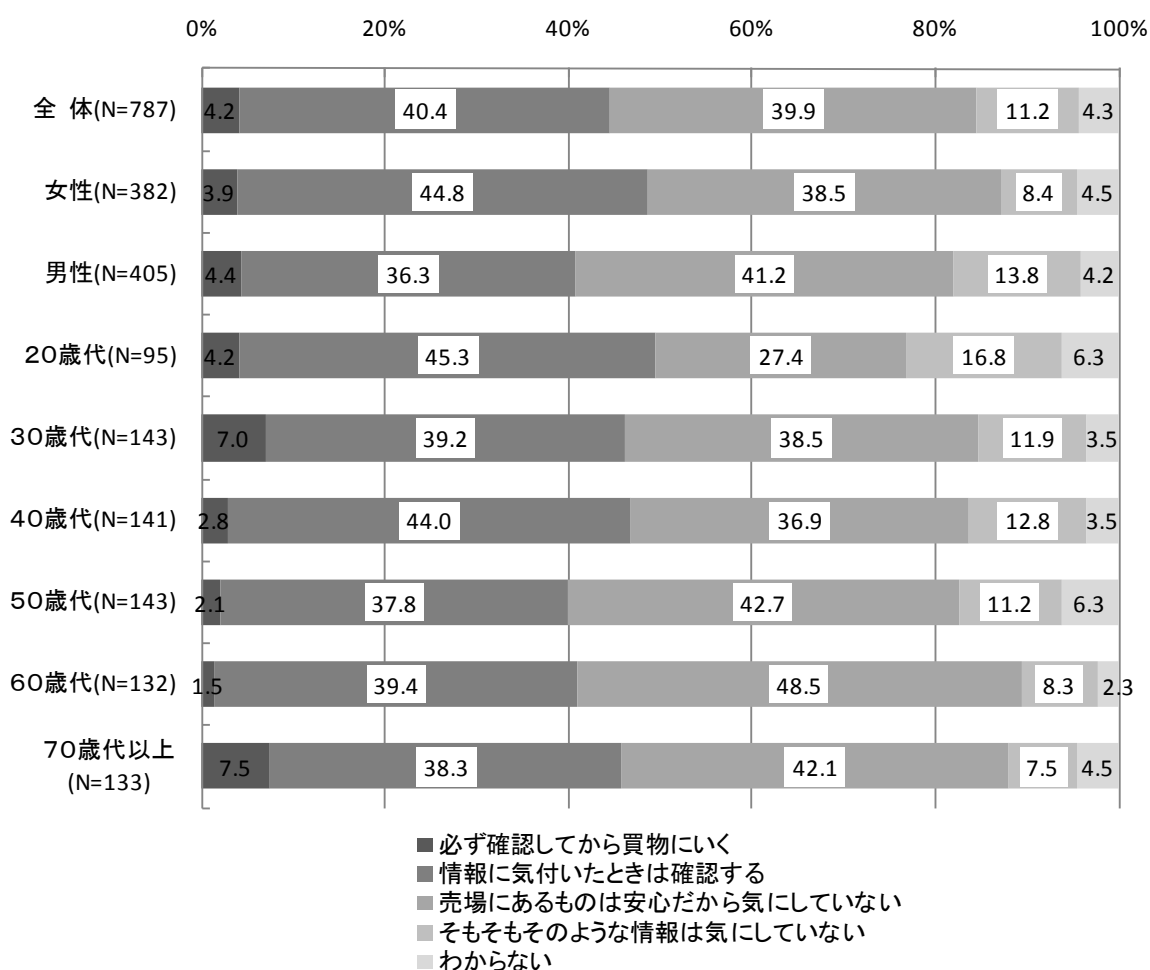


【70 歳代以上】



問5 あなたは、普段の買物で食品を購入する際に、政府や地方自治体が発表する出荷制限・解除に関する情報を確認していますか。(単一回答)

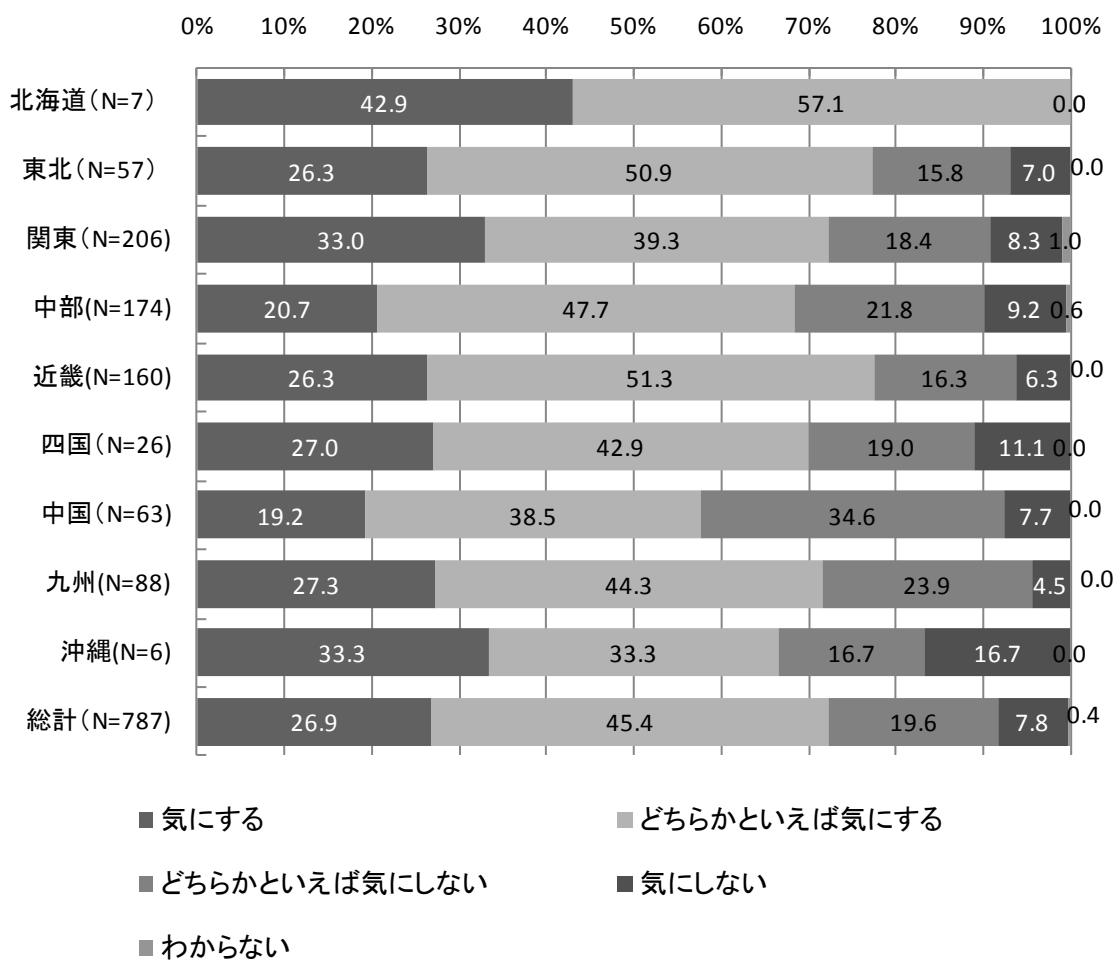
- ▼ 全体では、「情報に気付いたときは確認する」と回答した方が最も多く 40.4%、次いで、「売場にあるものは安心だから気にしていない」と回答した方が 39.9%となっており、ともに約 4 割程度を占めている。
- ▼ 性別では、女性は「気付いたときは確認する」と回答した方が最も多く 44.8%、男性は「安心だから気にしていない」と回答した方が最も多く 41.2%という結果となった。
- ▼ 年代別では、40 歳代以下の年代は「気付いたときは確認する」と回答した方が最も多く約 4 割程度占めている。なお、50 歳代以上の年代は「安心だから気にしていない」と回答した方が最も多くこちらも約 4 割程度占めている。



(図表中のNは、分類別の回答者数を示す。)

【行政ブロック別】

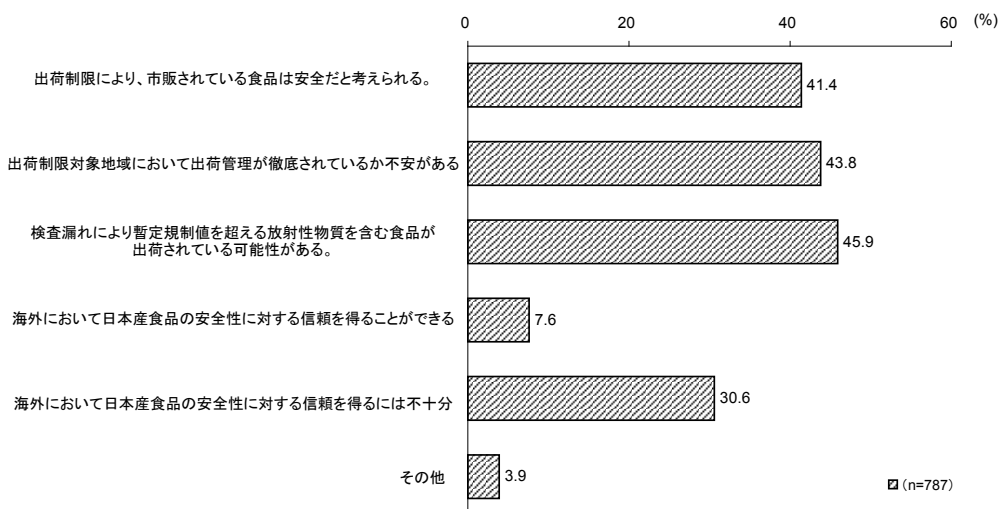
- ▼ 行政ブロック別では、東北、近畿、中国、沖縄を除き「情報に気付いたときは確認する」と回答した方が最も多く約4割程度占めている。また、北海道では約7割程度占めている。他のブロックをみると、「売場にあるものは安心だから気にしていない」と回答した方が最も多くこちらも約4割程度を占めている。



(図表中のNは、分類別の回答者数を示す。)

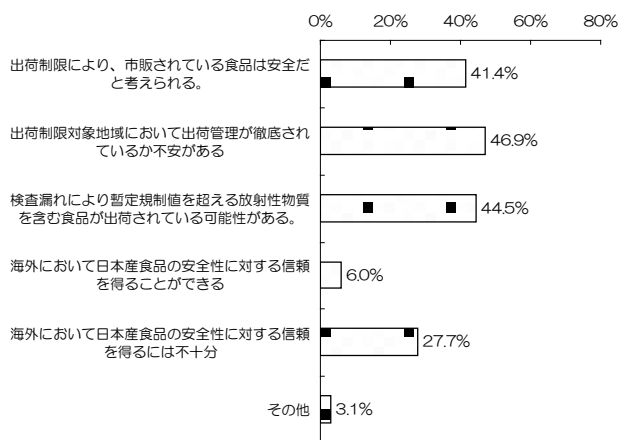
問6 あなたは、現在、政府が行っている食品中の放射線物質に関する検査と、その結果に基づく出荷制限の設定・解除についてどう思われますか。下からいくつでもあげてください。（複数回答）

▼ 全体では、「検査漏れにより暫定規制値を超える放射線物質を含む食品が出荷されている可能性がある」と回答した方が最も多く45.9%、次いで、「出荷制限対象地域において出荷管理が徹底されているか不安がある」と回答した方が43.8%、次いで、「出荷制限により、市販されている食品は安全だと考えられる」と回答した方が41.4%となっている。

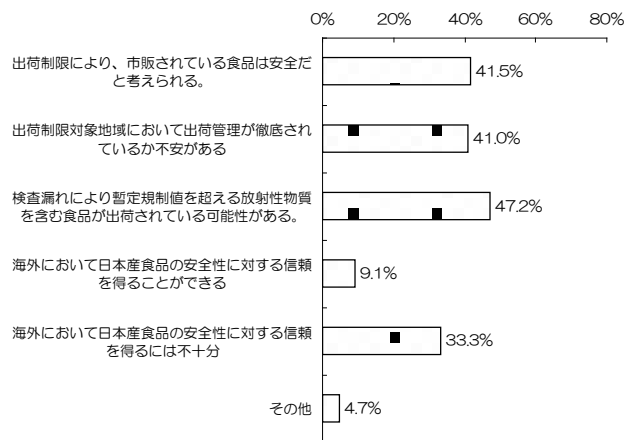


▼ 性別では、女性は「出荷管理が徹底されているか不安がある」と回答した方が最も多く46.9%、男性は「暫定規制値を超える放射線物質を含む食品が出荷されている可能性がある」と回答した方が最も多く47.2%という結果となった。

【女性】

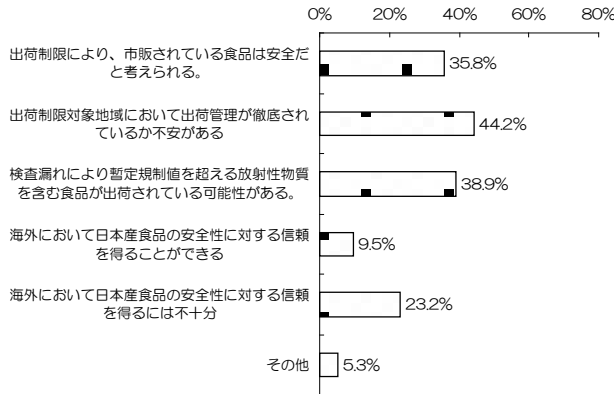


【男性】

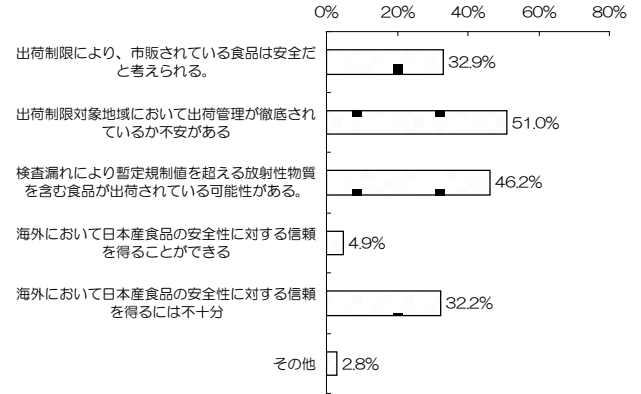


▼ 年代別では、40歳代以下の年代は「出荷管理が徹底されているか不安がある」と回答した方が最も多く約5割程度占めている。他の年代をみると、50～60歳代「暫定規制値を超える放射性物質を含む食品が出荷されている可能性がある」と回答した方が最も多く、こちらも約5割程度占めている。また、70歳代以上は、「市販されている食品は安全だと考えられる」と回答した方が最も多く約6割を占めている。

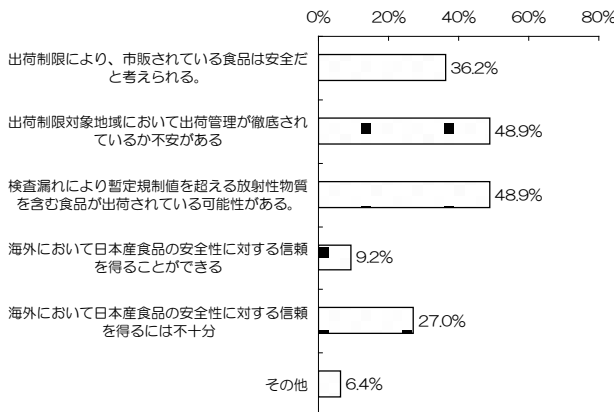
【20歳代】



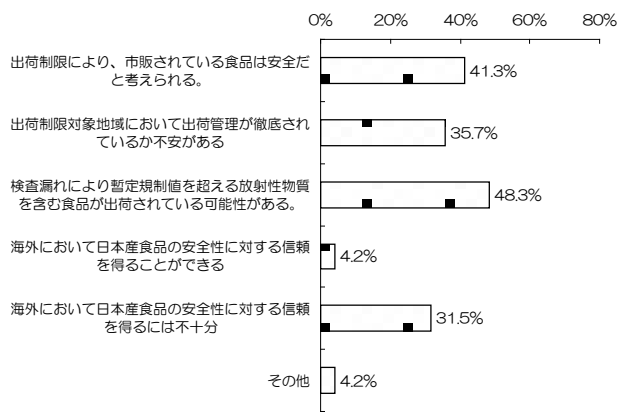
【30歳代】



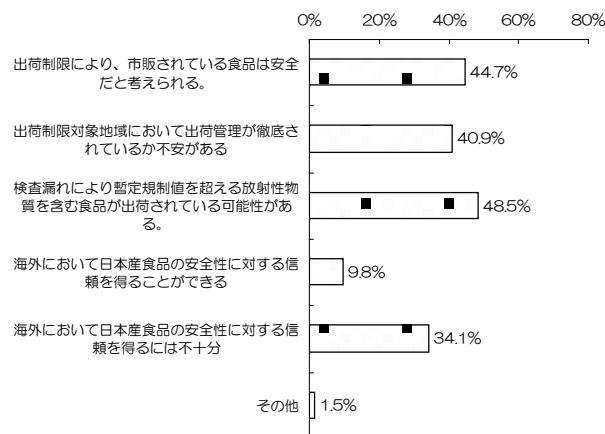
【40歳代】



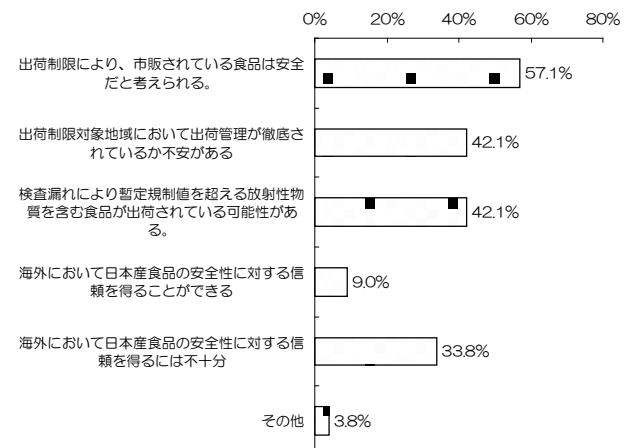
【50歳代】



【60歳代】

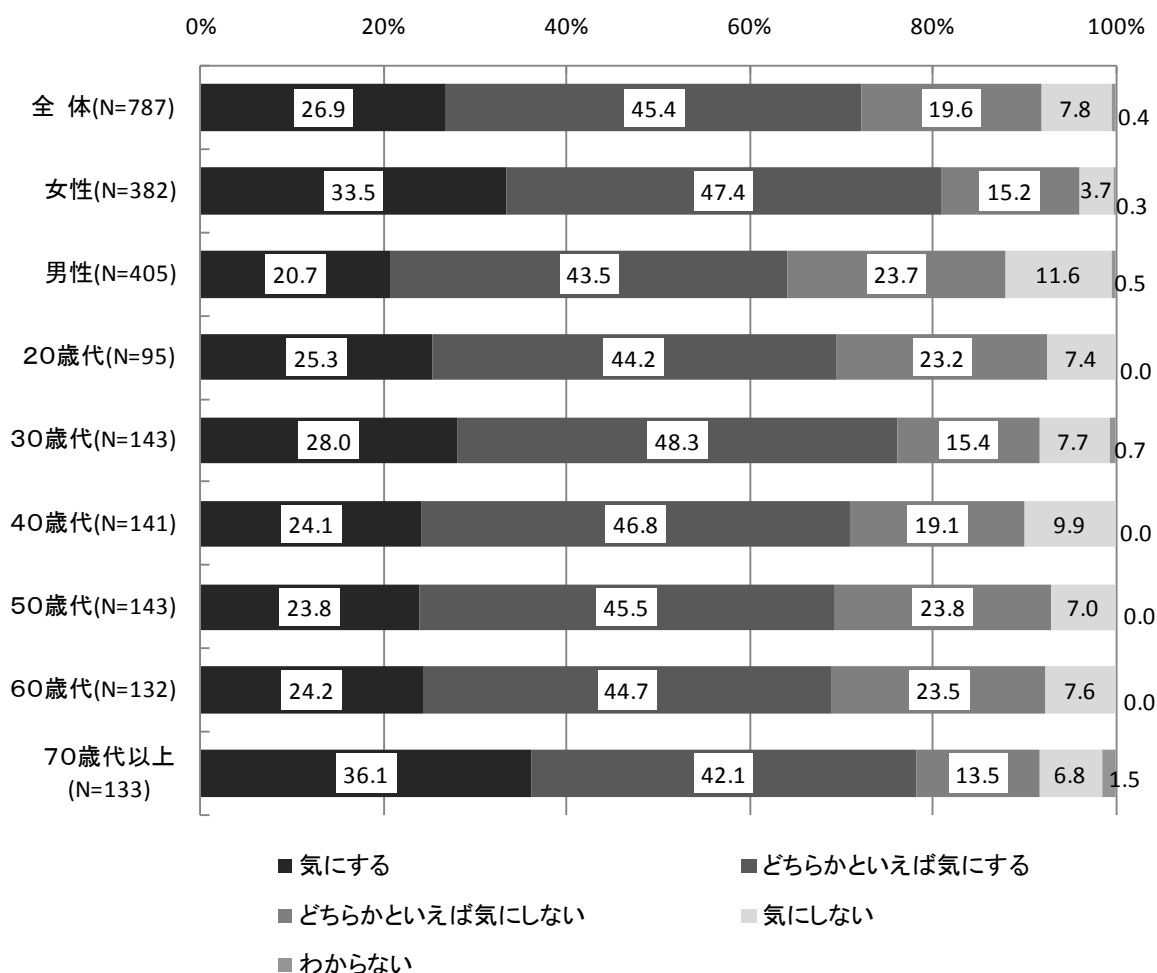


【70歳代以上】



問7 あなたは、普段の買物で食品を購入する際に、その食品がどこで生産されたかを気にされますか。下から1つだけ選んでお答えください。(単一回答)

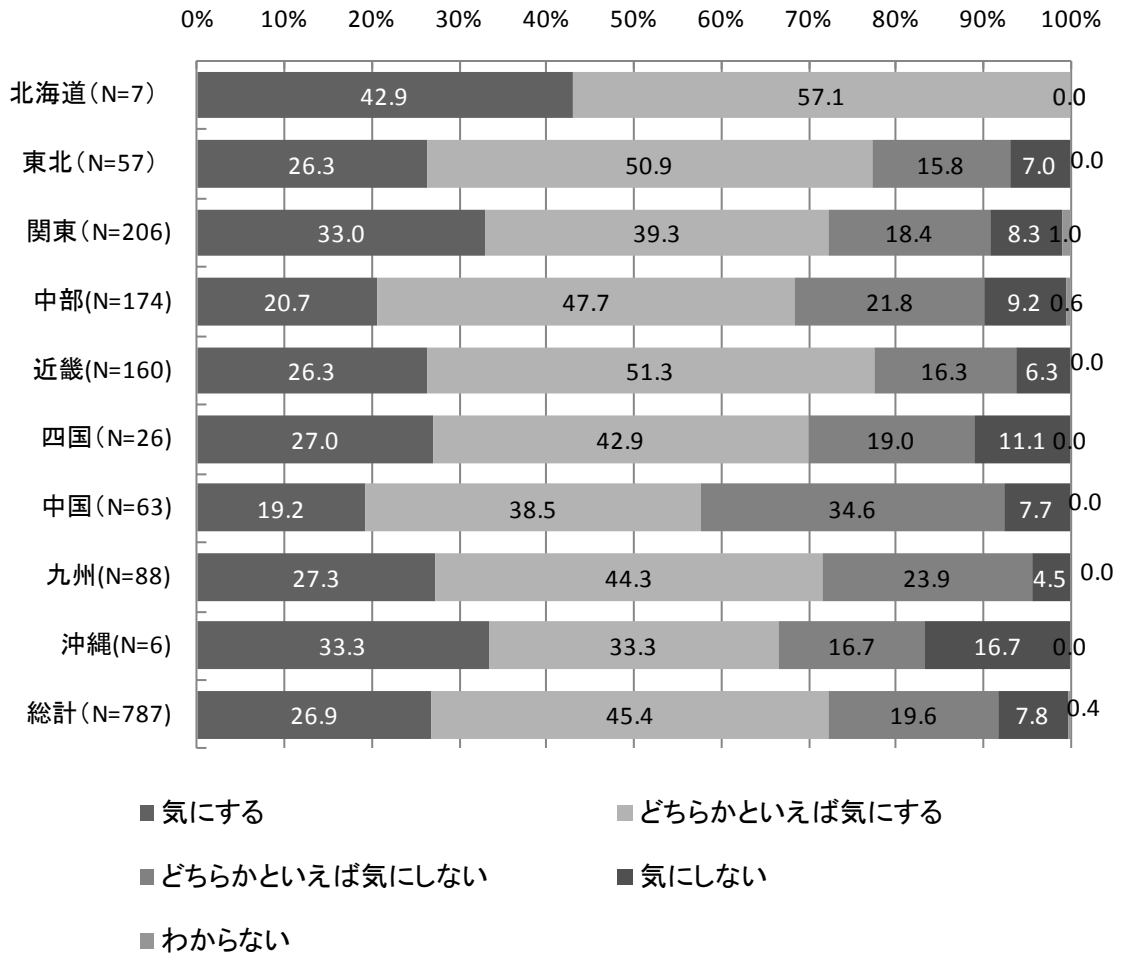
- ▼ 全体では、「どちらかといえば気にする」と回答した方が最も多く45.4%、次いで、「気にする」と回答した方で26.9%となっており、両方合わせると約7割を占めている。
- ▼ 性別では、女性男性ともに「どちらかといえば気にする」と回答した方が最も多く約5割程度を占めている。
- ▼ 年代別では、各年代ともに「どちらかといえば気にする」と回答した方が最も多く約4割程度を占めている。



(図表中のNは、分類別の回答者数を示す。)

【行政ブロック別】

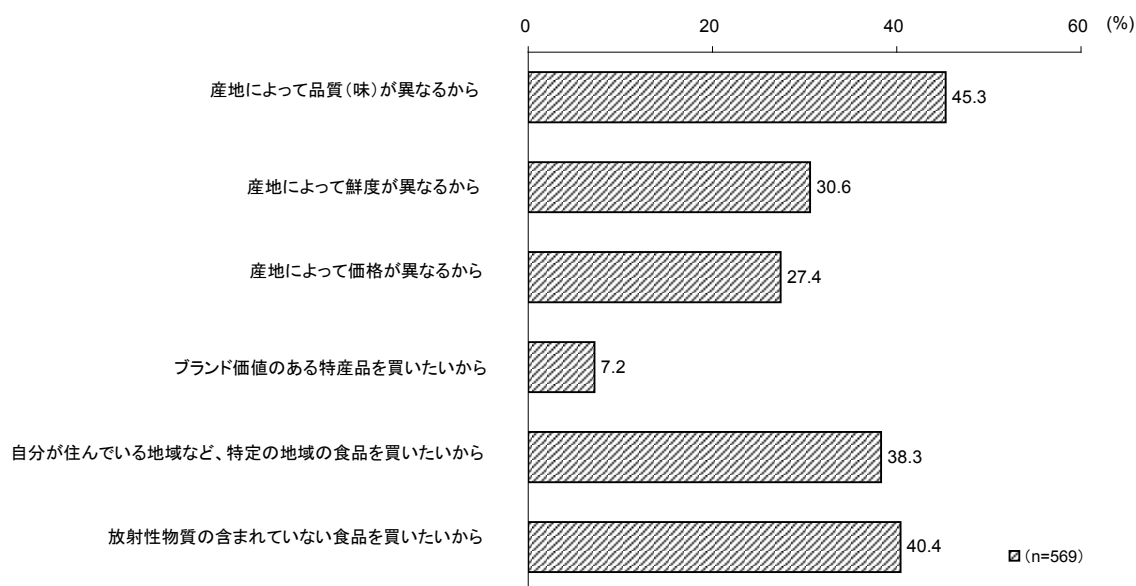
▼ 行政ブロック別では、全てのブロックで「どちらかといえば気にする」と回答した方が最も多く約4割から5割程度占めている。



(図表中のNは、分類別の回答者数を示す。)

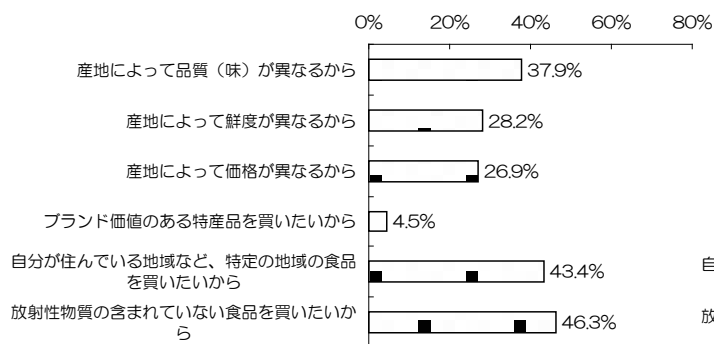
問8 あなたが、その食品がどこで生産されたかを気にされるのは、どのような理由からでしょうか。下からいくつでもあげてください。
(問7で「気にする」「どちらかといえば気にする」と答えた方のみ、複数回答)

▼ 全体では、「産地によって品質(味)が異なるから」と回答した方が最も多く45.3%、次いで、「放射性物質の含まれていない食品を買いいたいから」と回答した方が40.4%、次いで、「自分が住んでいる地域など、特定の地域の食品を買いいたいから」と回答した方が38.3%となっている。

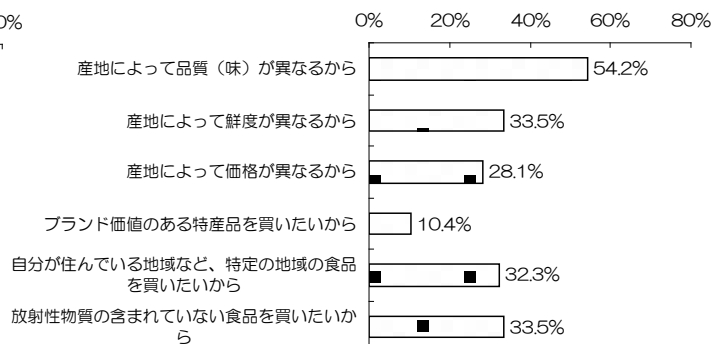


▼ 性別では、女性は「放射性物質の含まれていない食品を買いいたいから」と回答した方が最も多く46.3%、男性は「産地によって品質(味)が異なるから」と回答した方が最も多く54.2%という結果となった。

【女性】



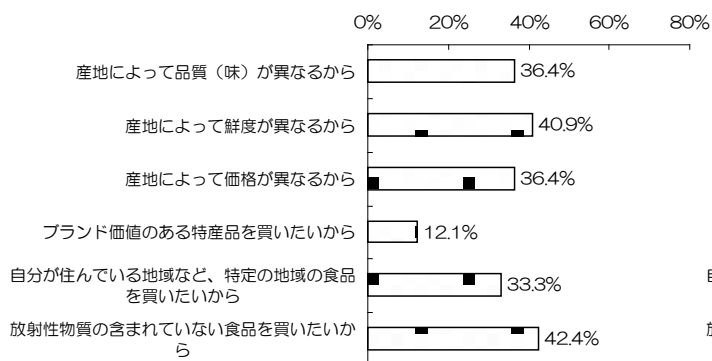
【男性】



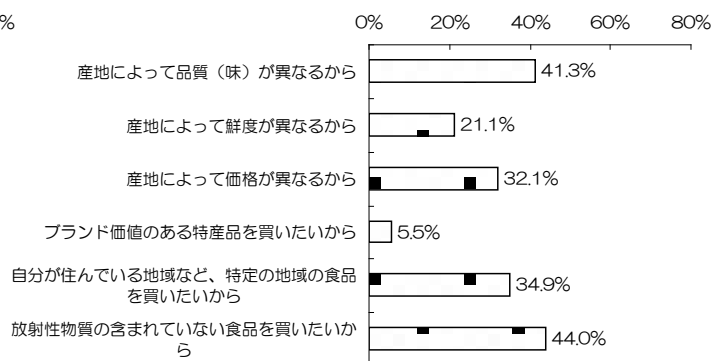
▼ 年代別では、20 歳～30 歳代の年代は「放射性物質の含まれていない食品を買いたいから」と回答した方が最も多く約 4 割程度占めている。

40～50 歳代と 70 歳代以上の年代は「産地によって品質（味）が異なるから」と回答した方が最も多く約 5 割程度占めている。60 歳代は、「自分が住んでいる地域など、特定の地域の食品を買いたいから」と回答した方が最も多く約半数を占めている。

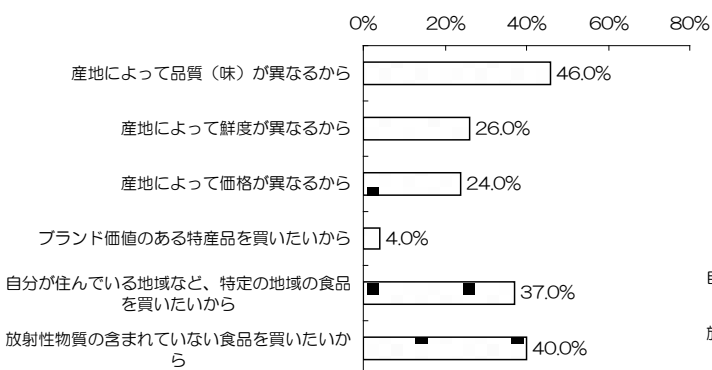
【20 歳代】



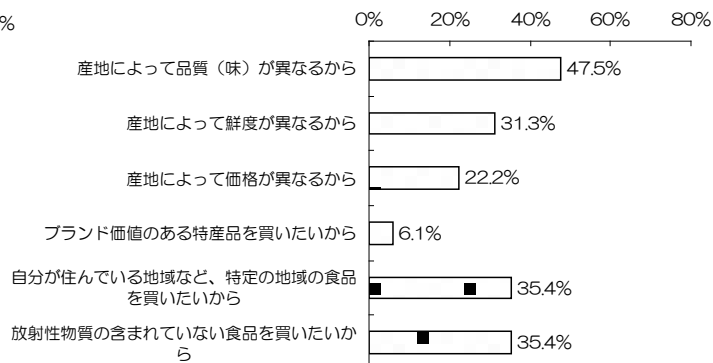
【30 歳代】



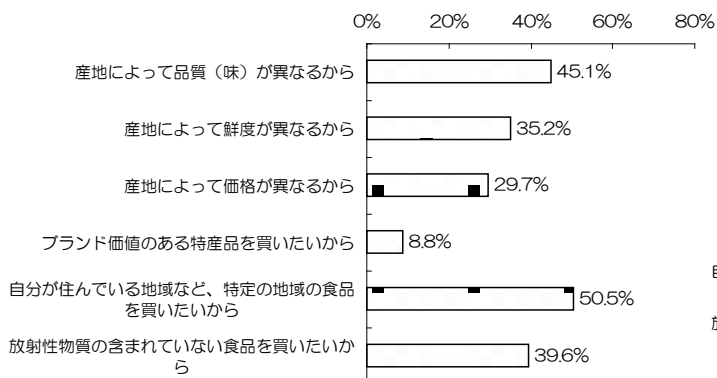
【40 歳代】



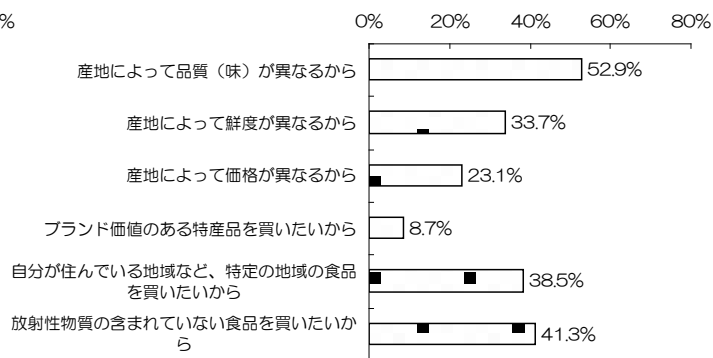
【50 歳代】



【60 歳代】

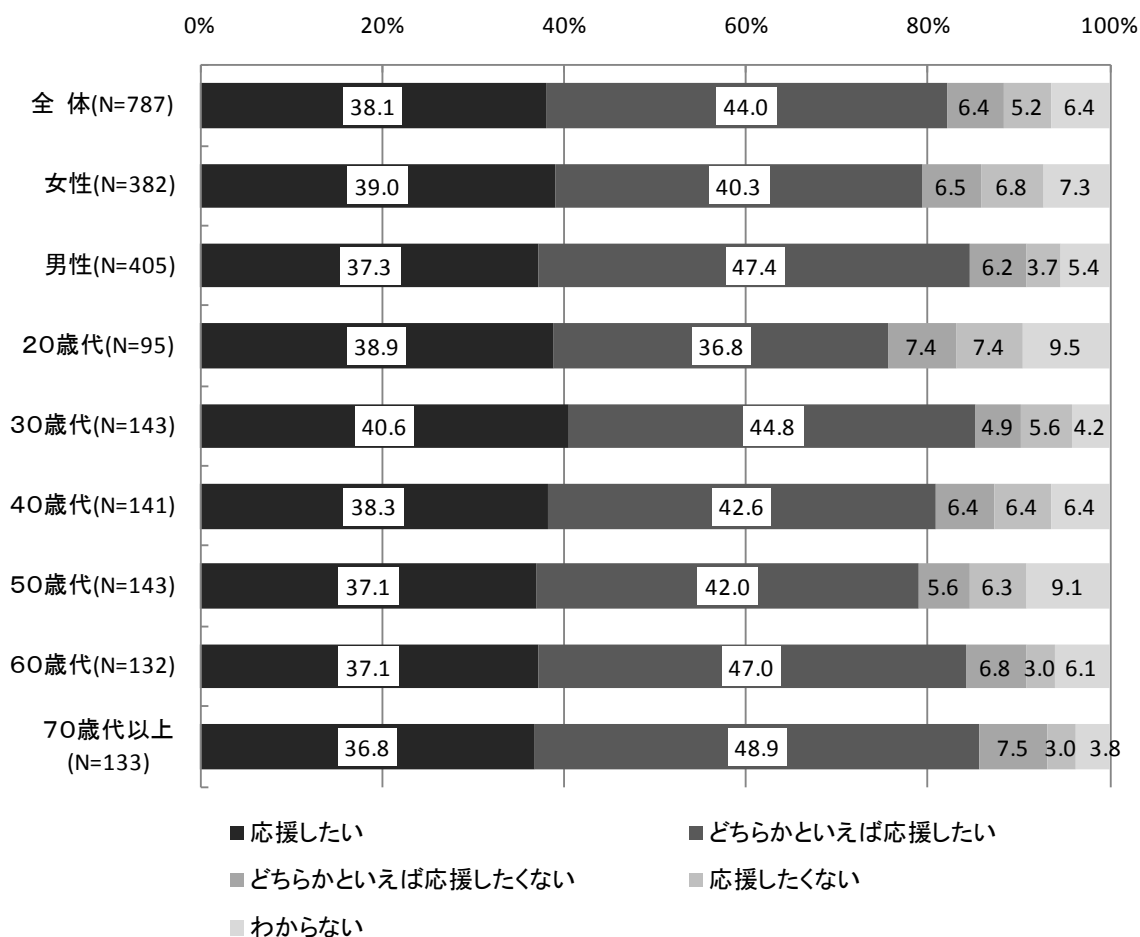


【70 歳代以上】



問9 あなたは、被災地産食品を積極的に食べることにより、被災地を応援したいと思いますか。下から1つだけ選んでお答えください。(単一回答)

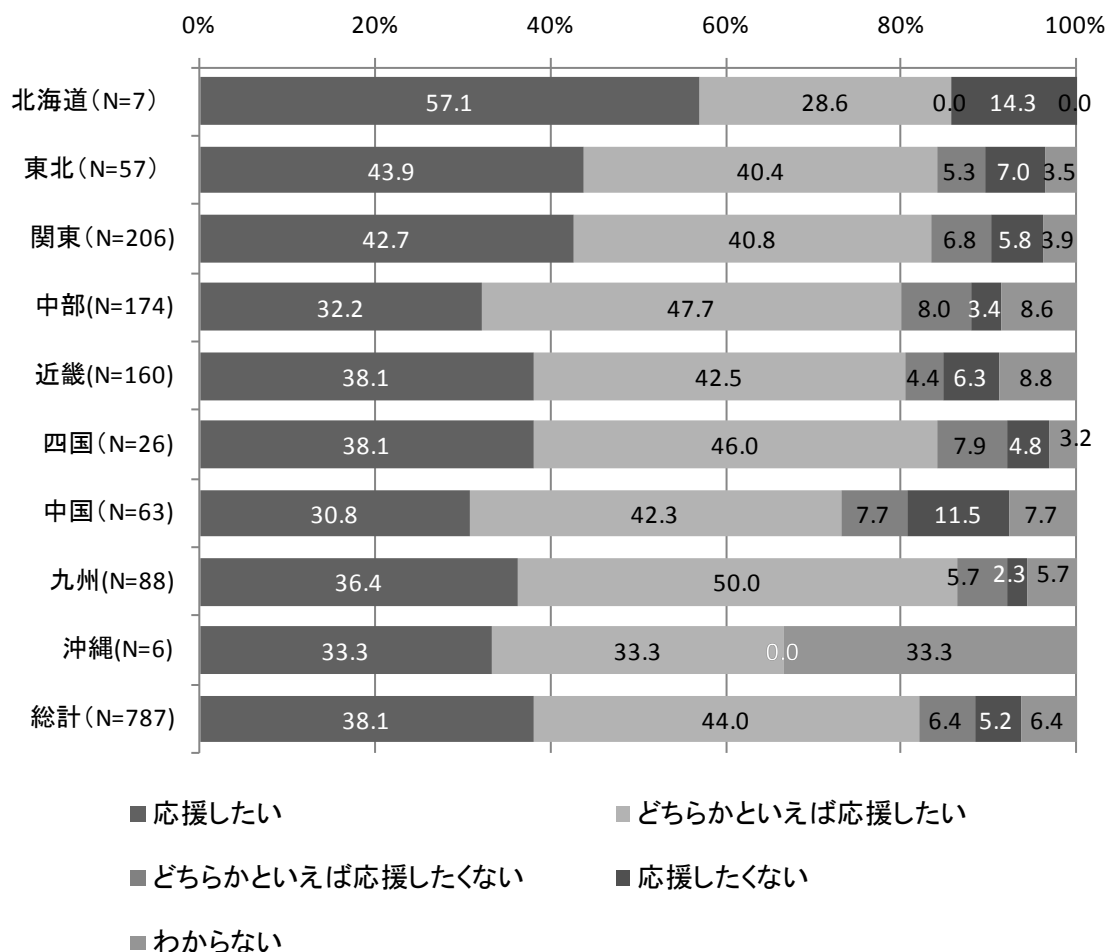
- ▼ 全体では、「どちらかといえば応援したい」と回答した方が最も多く 44.0%、次いで、「応援したい」と回答した方で 38.1%となっており、両方合わせると約 8 割程度を占めている。
- ▼ 性別では、女性男性ともに「どちらかといえば応援したい」と回答した方が最も多く約 4 割程度を占めている。
- ▼ 年代別では、20 歳代を除き「どちらかといえば応援したい」と回答した方が最も多く約 4 割を占めている。



(図表中のNは、分類別の回答者数を示す。)

【行政ブロック別】

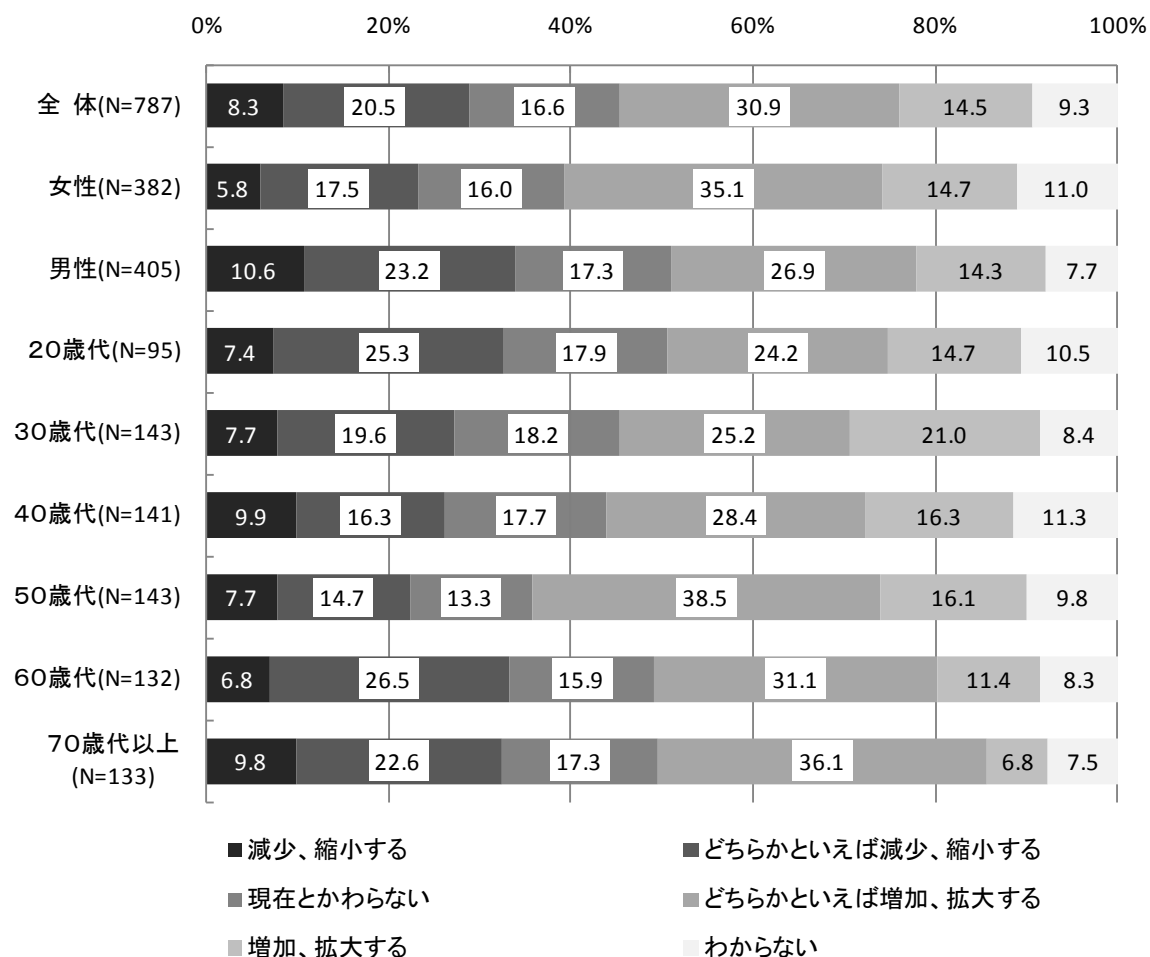
▼ 行政ブロック別では、北海道、東北、関東を除き「どちらかといえば応援したい」と回答した方が最も多く約4割から5割程度占めている。一方、北海道、東北、関東をみると、「応援したい」と回答した方が最も多くこちらも約4割から5割程度を占めている。



(図表中のNは、 分類別の回答者数を示す。)

問 10 あなたは、放射性物質が検出される食品の品目数や地域の広がり、今後どうなるとお考えですか。下から1つだけ選んでお答えください。(単一回答)

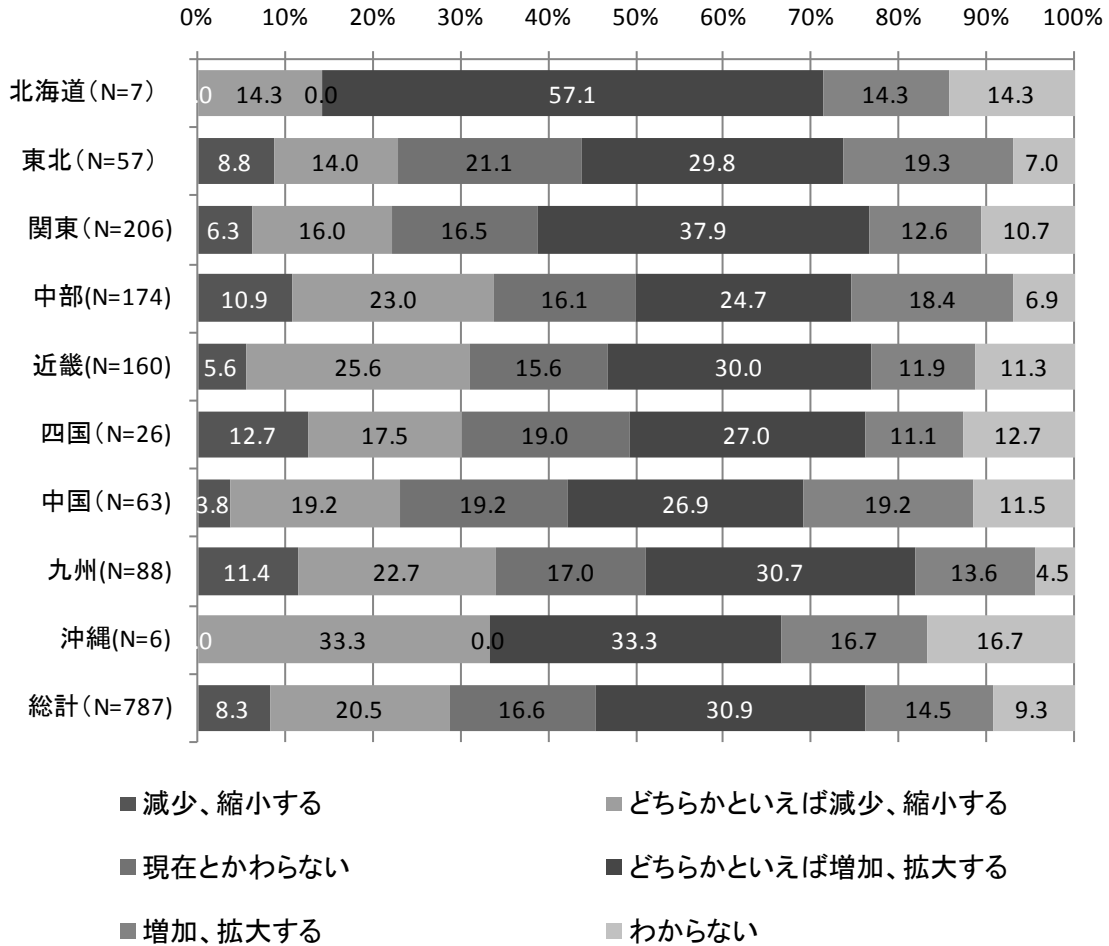
- ▼ 全体では、「どちらかといえば増加、拡大する」と回答した方が最も多く 30.9%、次いで、「どちらかといえば縮小、減少する」と回答した方で 20.5%、次いで、「現在とかわらない」と回答した方で 16.6%となっている。
- ▼ 性別では、女性男性ともに「どちらかといえば増加、拡大する」と回答した方が最も多く約 2 割から 3 割度を占めている。
- ▼ 年代別では、20 歳代を除き「どちらかといえば増加、拡大」と回答した方が最も多く約 3 割程度を占めている。



(図表中のNは、分類別の回答者数を示す。)

【行政ブロック別】

▼ 行政ブロック別では、全てのブロックで「どちらかといえば増加、拡大する」と回答した方が最も多く約3割程度占めている。



(図表中のNは、分類別の回答者数を示す。)

第3章 集計表

1. 単純集計表

Q1 放射線が人体に与える影響について、下から知っているものをいくつでもあげてください。

(上段は実数、下段は割合(%))

全 体	787 100.0
人体の外にある放射性物質からの放射性を受けることを「外部被ばく」といい、空気、水、食物などを摂取して体内に取り込まれた放射性物質から放射線を受けることを「内部被ばく」という。	657 83.5
人体において細胞分裂が盛んな組織である造血器官、生殖腺、腸管、皮膚などに一度に大量の放射線を受けた場合、数週間以内に障害が起きる。	343 43.6
少量でも長期的に一定量の放射線を受けることで、細胞の中のDNA等が損傷し、将来的にがんや白血病を発症する確率が高まる。ただし、発症するかどうかや発症時期には個人差がある。	588 74.7
放射線の影響は、大人よりも細胞分裂が活発な乳幼児・子ども・妊産婦(胎児)のほうが受けやすい。	639 81.2
体内に取り込まれた放射性物質の種類によっては、骨や特定の臓器に蓄積して長期間残留し、「内部被ばく」が続く。	364 46.3
口から摂取された放射性ヨウ素は容易に消化管から吸収され、血中に入った後、30%は甲状腺に蓄積し、残りは体内から排せつされる。	249 31.6
放射性セシウムが体内に入った場合、残存する量は約3ヶ月で半減する(50歳の場合)。特定の臓器に蓄積する性質はない。	144 18.3
母体が摂取した放射性ヨウ素の4分の1程度が母乳中に分泌されると推測されるが、確定的なことはわかっていない。	169 21.5
私たちは日常生活の中でも自然放射線によって「外部被ばく」と「内部被ばく」をしている(世界平均で1年間1人当たり2.4ミリシーベルト)。	467 59.3
無回答	27 3.4

Q2 あなたは、このように放射性物質を含む食品の出荷制限が行われていることをご存知でしたか。

(上段は実数、下段は割合(%))

全 体	787 100.0
内容を知っていた	409 52.0
出荷制限という言葉聞いたことはあるが内容は知らなかった	360 45.7
出荷制限という言葉聞いたことがない	18 2.3

Q3 あなたは、この調査に回答している時点で、日本のどの地域のどのような食品に出荷制限が設定されているかご存知でしたか。

(上段は実数、下段は割合(%))

全 体	787
	100.0
出荷制限対象地域・品目の全部または一部を知っている	281
	35.7
今覚えていないが、どうやって出荷制限対象地域・品目を調べればよいか知っている	263
	33.4
出荷制限対象地域・品目を知らないし、どうやって調べればよいかもわからない	243
	30.9

Q4 あなたは出荷制限されている食品の品目と地域についての情報をどこから得られていますか。下からいくつでもあげてください。

(上段は実数、下段は割合(%))

全 体	544
	100.0
インターネット	360
	66.2
テレビやラジオ	452
	83.1
新聞や雑誌	340
	62.5
広告やチラシ	10
	1.8
地方自治体からの広報資料	32
	5.9
地域自治会の回覧板	8
	1.5
友人や知人	31
	5.7
その他	4
	0.7

Q5 あなたは、普段の買物で食品を購入する際に、政府や地方自治体が発表する出荷制限・解除に関する情報を確認していますか。

(上段は実数、下段は割合(%))

全体	787	100.0
必ず確認してから買物に行く	33	4.2
情報に気付いたときは確認する	318	40.4
売場にあるものは安心だから気にしていない	314	39.9
そもそもそのような情報は気にしていない	88	11.2
わからない	34	4.3

Q6 あなたは、現在、政府が行っている食品中の放射線物質に関する検査と、その結果に基づく出荷制限の設定・解除についてどう思われますか。下からいくつでもあげてください。

(上段は実数、下段は割合(%))

全体	787	100.0
出荷制限により、市販されている食品は安全だと考えられる。	326	41.4
出荷制限対象地域において出荷管理が徹底されているか不安がある	345	43.8
検査漏れにより暫定規制値を超える放射性物質を含む食品が出荷されている可能性がある	361	45.9
海外において日本産食品の安全性に対する信頼を得ることができる	60	7.6
海外において日本産食品の安全性に対する信頼を得るには不十分	241	30.6
その他	31	3.9

Q7 あなたは、普段の買物で食品を購入する際に、その食品がどこで生産されたかを気にされますか。
下からから1つだけ選んでお答えください。

(上段は実数、下段は割合(%))

全体	787	100.0
気にする	212	26.9
どちらかといえば気にする	357	45.4
どちらかといえば気にしない	154	19.6
気にしない	61	7.8
わからない	3	0.4

Q8 あなたが、その食品がどこで生産されたかを気にされるのは、どのような理由からでしょうか。
下からいくつでもあげてください。

(上段は実数、下段は割合(%))

全体	569	100.0
産地によって品質(味)が異なるから	258	45.3
産地によって鮮度が異なるから	174	30.6
産地によって価格が異なるから	156	27.4
ブランド価値のある特産品を買いいたいから	41	7.2
自分が住んでいる地域など、特定の地域の食品を買いいたいから	218	38.3
放射性物質の含まれていない食品を買いいたいから	230	40.4

Q9 あなたは、被災地産食品を積極的に食べることにより、被災地を応援したいと思いますか。

下中から1つだけ選んでお答えください。

(上段は実数、下段は割合(%))

全 体	787	100.0
応援したい	300	38.1
どちらかといえば応援したい	346	44.0
どちらかといえば応援したくない	50	6.4
応援したくない	41	5.2
わからない	50	6.4

Q10 あなたは、放射性物質が検出される食品の品目数や地域の広がり、今後どうなるとお考えですか。

下から1つだけ選んでお答えください。

(上段は実数、下段は割合(%))

全 体	787	100.0
減少、縮小する	65	8.3
どちらかといえば減少、縮小する	161	20.5
現在とかわらない	131	16.6
どちらかといえば増加、拡大する	243	30.9
増加、拡大する	114	14.5
わからない	73	9.3

2. クロス集計表

Q1 放射線が人体に与える影響について、下から知っているものをいくでもあげてください。

(上段は実数、下段は割合(%))

	全 体	く り 部 人 体 週 腺 人 が の 少 も 放 射 線 の 内 臓 器 に 蓄 積 し て 長 期 間 残 留 し 、 「 内 部 被 ば く 」 が 続 く 。	く り 部 人 体 週 腺 人 が の 少 も 放 射 線 の 内 臓 器 に 蓄 積 し て 長 期 間 残 留 し 、 「 内 部 被 ば く 」 が 続 く 。	く り 部 人 体 週 腺 人 が の 少 も 放 射 線 の 内 臓 器 に 蓄 積 し て 長 期 間 残 留 し 、 「 内 部 被 ば く 」 が 続 く 。	く り 部 人 体 週 腺 人 が の 少 も 放 射 線 の 内 臓 器 に 蓄 積 し て 長 期 間 残 留 し 、 「 内 部 被 ば く 」 が 続 く 。	く り 部 人 体 週 腺 人 が の 少 も 放 射 線 の 内 臓 器 に 蓄 積 し て 長 期 間 残 留 し 、 「 内 部 被 ば く 」 が 続 く 。	く り 部 人 体 週 腺 人 が の 少 も 放 射 線 の 内 臓 器 に 蓄 積 し て 長 期 間 残 留 し 、 「 内 部 被 ば く 」 が 続 く 。	く り 部 人 体 週 腺 人 が の 少 も 放 射 線 の 内 臓 器 に 蓄 積 し て 長 期 間 残 留 し 、 「 内 部 被 ば く 」 が 続 く 。	く り 部 人 体 週 腺 人 が の 少 も 放 射 線 の 内 臓 器 に 蓄 積 し て 長 期 間 残 留 し 、 「 内 部 被 ば く 」 が 続 く 。	く り 部 人 体 週 腺 人 が の 少 も 放 射 線 の 内 臓 器 に 蓄 積 し て 長 期 間 残 留 し 、 「 内 部 被 ば く 」 が 続 く 。	く り 部 人 体 週 腺 人 が の 少 も 放 射 線 の 内 臓 器 に 蓄 積 し て 長 期 間 残 留 し 、 「 内 部 被 ば く 」 が 続 く 。
全体	787 100.0	657 83.5	343 43.6	588 74.7	639 81.2	364 46.3	249 31.6	144 18.3	169 21.5	467 59.3	
性別											
女	382 100.0	319 83.5	159 41.6	293 76.7	325 85.1	165 43.2	118 30.9	66 17.3	93 24.3	238 62.3	
男	405 100.0	338 83.5	184 45.4	295 72.8	314 77.5	199 49.1	131 32.3	78 19.3	76 18.8	229 56.5	
年代											
20歳代	95 100.0	77 81.1	27 28.4	58 61.1	63 66.3	24 25.3	17 17.9	15 15.8	16 16.8	54 56.8	
30歳代	143 100.0	108 75.5	48 33.6	102 71.3	115 80.4	49 34.3	22 15.4	15 10.5	23 16.1	81 56.6	
40歳代	141 100.0	117 83.0	57 40.4	102 72.3	109 77.3	56 39.7	43 30.5	23 16.3	34 24.1	82 58.2	
50歳代	143 100.0	124 86.7	69 48.3	114 79.7	124 86.7	79 55.2	46 32.2	22 15.4	24 16.8	89 62.2	
60歳代	132 100.0	117 88.6	71 53.8	106 80.3	109 82.6	72 54.5	58 43.9	32 24.2	36 27.3	76 57.6	
70歳代以上	133 100.0	114 85.7	71 53.4	106 79.7	119 89.5	84 63.2	63 47.4	37 27.8	36 27.1	85 63.9	
行政ブロック											
北海道	7 100.0	7 100.0	4 57.1	7 100.0	7 100.0	5 71.4	4 57.1	-	4 57.1	6 85.7	
東北	57 100.0	51 89.5	28 49.1	40 70.2	49 86.0	35 61.4	15 26.3	10 17.5	13 22.8	36 63.2	
関東	206 100.0	171 83.0	101 49.0	160 77.7	181 87.9	107 51.9	85 41.3	51 24.8	58 28.2	139 67.5	
中部	174 100.0	150 86.2	62 35.6	126 72.4	137 78.7	72 41.4	40 23.0	17 9.8	30 17.2	99 56.9	
近畿	160 100.0	129 80.6	74 46.3	122 76.3	126 78.8	76 47.5	46 28.8	30 18.8	27 16.9	87 54.4	
中国	63 100.0	52 82.5	26 41.3	46 73.0	47 74.6	26 41.3	22 34.9	16 25.4	11 17.5	32 50.8	
四国	26 100.0	22 84.6	8 30.8	19 73.1	21 80.8	10 38.5	9 34.6	3 11.5	4 15.4	16 61.5	
九州	88 100.0	72 81.8	37 42.0	63 71.6	67 76.1	31 35.2	26 29.5	16 18.2	20 22.7	51 58.0	
沖縄	6 100.0	3 50.0	3 50.0	5 83.3	4 66.7	2 33.3	2 33.3	1 16.7	2 33.3	1 16.7	

Q2 あなたは、このように放射性物質を含む食品の出荷制限が行われていることをご存知でしたか。

(上段は実数、下段は割合(%))

	全 体	内 容 を 知 っ て い た	あ る が 内 容 は い う 言 葉 を 聞 い た こ と は	な い 出 荷 制 限 と い う 言 葉 を 聞 い た こ と が
全 体	787 100.0	409 52.0	360 45.7	18 2.3

性別

女	382 100.0	206 53.9	171 44.8	5 1.3
男	405 100.0	203 50.1	189 46.7	13 3.2

年代

20歳代	95 100.0	50 52.6	41 43.2	4 4.2
30歳代	143 100.0	71 49.7	68 47.6	4 2.8
40歳代	141 100.0	67 47.5	70 49.6	4 2.8
50歳代	143 100.0	70 49.0	68 47.6	5 3.5
60歳代	132 100.0	71 53.8	61 46.2	-
70歳代以上	133 100.0	80 60.2	52 39.1	1 0.8

行政ブロック

北海道	7 100.0	6 85.7	1 14.3	-
東北	57 100.0	35 61.4	22 38.6	-
関東	206 100.0	125 60.7	78 37.9	3 1.5
中部	174 100.0	80 46.0	84 48.3	10 5.7
近畿	160 100.0	78 48.8	80 50.0	2 1.3
中国	63 100.0	32 50.8	30 47.6	1 1.6
四国	26 100.0	11 42.3	15 57.7	-
九州	88 100.0	40 45.5	46 52.3	2 2.3
沖縄	6 100.0	2 33.3	4 66.7	-

Q3 あなたは、この調査に回答している時点で、日本のどの地域の
 どのような食品に出荷制限が設定されているかご存知でしたか。

(上段は実数、下段は割合(%))

	全 体	は 一 部 を 知 つ て い る	出 荷 制 限 対 象 地 域 ・ 品 目 の 全 部 ま た	か 制 限 対 象 地 域 ・ 品 目 を 調 べ れ ば よ い	今 覚 え て い な い が、 ど う や つ て 出 荷	か ら な い や つ て 調 べ れ ば よ い か ら な い	出 荷 制 限 対 象 地 域 ・ 品 目 を 知 ら な い
全 体	787 100.0	281 35.7		263 33.4		243 30.9	

性別

女	382 100.0	140 36.6		121 31.7		121 31.7	
男	405 100.0	141 34.8		142 35.1		122 30.1	

年代

20歳代	95 100.0	26 27.4		33 34.7		36 37.9	
30歳代	143 100.0	40 28.0		44 30.8		59 41.3	
40歳代	141 100.0	48 34.0		51 36.2		42 29.8	
50歳代	143 100.0	47 32.9		57 39.9		39 27.3	
60歳代	132 100.0	55 41.7		39 29.5		38 28.8	
70歳代以上	133 100.0	65 48.9		39 29.3		29 21.8	

行政ブロック

北海道	7 100.0	2 28.6		3 42.9		2 28.6	
東北	57 100.0	26 45.6		18 31.6		13 22.8	
関東	206 100.0	84 40.8		69 33.5		53 25.7	
中部	174 100.0	56 32.2		56 32.2		62 35.6	
近畿	160 100.0	50 31.3		55 34.4		55 34.4	
中国	63 100.0	22 34.9		22 34.9		19 30.2	
四国	26 100.0	7 26.9		8 30.8		11 42.3	
九州	88 100.0	33 37.5		31 35.2		24 27.3	
沖縄	6 100.0	1 16.7		1 16.7		4 66.7	

Q4 あなたは出荷制限されている食品の品目と地域についての情報をどこから得られていますか。下からいくつでもあげてください。

(上段は実数、下段は割合(%))

	全 体	イン ター ネッ ト	テレ ビ や ラジ オ	新 聞 や 雑 誌	広 告 や チ ラ シ	地 方 自 治 体 か ら の 広 報 資 料	地 域 自 治 会 の 回 覧 板	友 人 や 知 人	そ の 他
全 体	544 100.0	360 66.2	452 83.1	340 62.5	10 1.8	32 5.9	8 1.5	31 5.7	4 0.7
性別									
女	261 100.0	164 62.8	217 83.1	157 60.2	7 2.7	15 5.7	4 1.5	22 8.4	4 1.5
男	283 100.0	196 69.3	235 83.0	183 64.7	3 1.1	17 6.0	4 1.4	9 3.2	-
年代									
20歳代	59 100.0	43 72.9	48 81.4	22 37.3	1 1.7	4 6.8	2 3.4	3 5.1	-
30歳代	84 100.0	60 71.4	70 83.3	44 52.4	3 3.6	6 7.1	2 2.4	5 6.0	1 1.2
40歳代	99 100.0	72 72.7	78 78.8	65 65.7	-	6 6.1	-	3 3.0	1 1.0
50歳代	104 100.0	75 72.1	86 82.7	65 62.5	3 2.9	3 2.9	-	5 4.8	-
60歳代	94 100.0	57 60.6	78 83.0	65 69.1	-	6 6.4	2 2.1	8 8.5	1 1.1
70歳代以上	104 100.0	53 51.0	92 88.5	79 76.0	3 2.9	7 6.7	2 1.9	7 6.7	1 1.0
行政ブロック									
北海道	5 100.0	5 100.0	4 80.0	4 80.0	-	-	-	1 20.0	-
東北	44 100.0	28 63.6	34 77.3	27 61.4	2 4.5	2 4.5	-	2 4.5	-
関東	153 100.0	101 66.0	127 83.0	102 66.7	4 2.6	13 8.5	4 2.6	10 6.5	-
中部	112 100.0	75 67.0	100 89.3	74 66.1	1 0.9	7 6.3	2 1.8	4 3.6	2 1.8
近畿	105 100.0	67 63.8	85 81.0	59 56.2	2 1.9	2 1.9	-	6 5.7	2 1.9
中国	44 100.0	29 65.9	39 88.6	26 59.1	-	3 6.8	1 2.3	2 4.5	-
四国	15 100.0	10 66.7	13 86.7	13 86.7	-	1 6.7	-	1 6.7	-
九州	64 100.0	44 68.8	48 75.0	34 53.1	1 1.6	4 6.3	1 1.6	5 7.8	-
沖縄	2 100.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	-

Q5 あなたは、普段の買物で食品を購入する際に、政府や地方自治体が発表する出荷制限・解除に関する情報を確認していますか。

(上段は実数、下段は割合(%))

	全 体	必 ず 確 認 し て か ら 買 物 に い く	情 報 に 気 付 い た と き は 確 認 す る	し 売 場 に あ る も の は 安 心 だ か ら 気 に い ない	そ も そ の よ う な 情 報 は 気 に し ない	わ か ら な い
全 体	787 100.0	33 4.2	318 40.4	314 39.9	88 11.2	34 4.3
性別						
女	382 100.0	15 3.9	171 44.8	147 38.5	32 8.4	17 4.5
男	405 100.0	18 4.4	147 36.3	167 41.2	56 13.8	17 4.2
年代						
20歳代	95 100.0	4 4.2	43 45.3	26 27.4	16 16.8	6 6.3
30歳代	143 100.0	10 7.0	56 39.2	55 38.5	17 11.9	5 3.5
40歳代	141 100.0	4 2.8	62 44.0	52 36.9	18 12.8	5 3.5
50歳代	143 100.0	3 2.1	54 37.8	61 42.7	16 11.2	9 6.3
60歳代	132 100.0	2 1.5	52 39.4	64 48.5	11 8.3	3 2.3
70歳代以上	133 100.0	10 7.5	51 38.3	56 42.1	10 7.5	6 4.5
行政ブロック						
北海道	7 100.0	1 14.3	5 71.4	1 14.3	- -	- -
東北	57 100.0	3 5.3	23 40.4	27 47.4	4 7.0	- -
関東	206 100.0	9 4.4	92 44.7	80 38.8	17 8.3	8 3.9
中部	174 100.0	6 3.4	69 39.7	69 39.7	24 13.8	6 3.4
近畿	160 100.0	7 4.4	57 35.6	68 42.5	16 10.0	12 7.5
中国	63 100.0	2 3.2	25 39.7	23 36.5	10 15.9	3 4.8
四国	26 100.0	1 3.8	7 26.9	11 42.3	4 15.4	3 11.5
九州	88 100.0	4 4.5	38 43.2	32 36.4	12 13.6	2 2.3
沖縄	6 100.0	- -	2 33.3	3 50.0	1 16.7	- -

Q6 あなたは、現在、政府が行っている食品中の放射線物質に関する検査と、その結果に基づく出荷制限の設定・解除についてどう思われますか。下からいくつでもあげてください。

(上段は実数、下段は割合(%))

	全 体	食 品 出 荷 制 限 に よ り 考 え ら れ て い る	出 荷 制 限 さ れ て い る 地 域 に お い て 出 荷 管	理 出 荷 制 限 さ れ て い る 地 域 に お い て 出 荷 管	れ る 検 査 漏 れ の 可 能 性 が あ る	に 海 外 に お い て 日 本 産 食 品 の 安 全 性	に 海 外 に お い て 日 本 産 食 品 の 安 全 性	そ の 他
全 体	787 100.0	326 41.4	345 43.8	361 45.9	60 7.6	241 30.6	31 3.9	

性別

女	382 100.0	158 41.4	179 46.9	170 44.5	23 6.0	106 27.7	12 3.1
男	405 100.0	168 41.5	166 41.0	191 47.2	37 9.1	135 33.3	19 4.7

年代

20歳代	95 100.0	34 35.8	42 44.2	37 38.9	9 9.5	22 23.2	5 5.3
30歳代	143 100.0	47 32.9	73 51.0	66 46.2	7 4.9	46 32.2	4 2.8
40歳代	141 100.0	51 36.2	69 48.9	69 48.9	13 9.2	38 27.0	9 6.4
50歳代	143 100.0	59 41.3	51 35.7	69 48.3	6 4.2	45 31.5	6 4.2
60歳代	132 100.0	59 44.7	54 40.9	64 48.5	13 9.8	45 34.1	2 1.5
70歳代以上	133 100.0	76 57.1	56 42.1	56 42.1	12 9.0	45 33.8	5 3.8

行政ブロック

北海道	7 100.0	2 28.6	5 71.4	3 42.9	1 14.3	3 42.9	- -
東北	57 100.0	27 47.4	26 45.6	25 43.9	5 8.8	14 24.6	1 1.8
関東	206 100.0	91 44.2	94 45.6	107 51.9	16 7.8	67 32.5	6 2.9
中部	174 100.0	60 34.5	80 46.0	85 48.9	15 8.6	53 30.5	7 4.0
近畿	160 100.0	69 43.1	64 40.0	63 39.4	9 5.6	53 33.1	6 3.8
中国	63 100.0	26 41.3	22 34.9	26 41.3	6 9.5	20 31.7	5 7.9
四国	26 100.0	12 46.2	11 42.3	12 46.2	3 11.5	7 26.9	2 7.7
九州	88 100.0	37 42.0	39 44.3	37 42.0	5 5.7	22 25.0	3 3.4
沖縄	6 100.0	2 33.3	4 66.7	3 50.0	- -	2 33.3	1 16.7

Q7 あなたは、普段の買物で食品を購入する際に、その食品がどこで生産されたかを気にされますか。下から1つだけ選んでお答えください。

(上段は実数、下段は割合(%))

	全 体	気 に す る	ど ち ら か と い え ば 気 に す る	ど ち ら か と い え ば 気 に し な い	気 に し な い	わ か ら な い
全 体	787 100.0	212 26.9	357 45.4	154 19.6	61 7.8	3 0.4
性別						
女	382 100.0	128 33.5	181 47.4	58 15.2	14 3.7	1 0.3
男	405 100.0	84 20.7	176 43.5	96 23.7	47 11.6	2 0.5
年代						
20歳代	95 100.0	24 25.3	42 44.2	22 23.2	7 7.4	-
30歳代	143 100.0	40 28.0	69 48.3	22 15.4	11 7.7	1 0.7
40歳代	141 100.0	34 24.1	66 46.8	27 19.1	14 9.9	-
50歳代	143 100.0	34 23.8	65 45.5	34 23.8	10 7.0	-
60歳代	132 100.0	32 24.2	59 44.7	31 23.5	10 7.6	-
70歳代以上	133 100.0	48 36.1	56 42.1	18 13.5	9 6.8	2 1.5
行政ブロック						
北海道	71 100.0	3 42.9	4 57.1	-	-	-
東北	57 100.0	15 26.3	29 50.9	9 15.8	4 7.0	-
関東	206 100.0	68 33.0	81 39.3	38 18.4	17 8.3	2 1.0
中部	174 100.0	36 20.7	83 47.7	38 21.8	16 9.2	1 0.6
近畿	160 100.0	42 26.3	82 51.3	26 16.3	10 6.3	-
中国	63 100.0	17 27.0	27 42.9	12 19.0	7 11.1	-
四国	26 100.0	5 19.2	10 38.5	9 34.6	2 7.7	-
九州	88 100.0	24 27.3	39 44.3	21 23.9	4 4.5	-
沖縄	6 100.0	2 33.3	2 33.3	1 16.7	1 16.7	-

Q8 あなたが、その食品がどこで生産されたかを気にされるのは、どのような理由からでしょうか。下からいくつでもあげてください。

(上段は実数、下段は割合(%))

	全 体	か ら 産 地 に よ っ て 品 質 (味) が 異 な る	産 地 に よ っ て 鮮 度 が 異 な る か ら	産 地 に よ っ て 価 格 が 異 な る か ら	た ら し ま な い か ら ブ ラ ン ド 価 値 の あ る 特 産 品 を 買 い	の 自 分 が 住 ん で い る 地 域 な ど、 特 定	を 放 射 性 物 質 の 含 ま れ て い な い 食 品
全 体	569 100.0	258 45.3	174 30.6	156 27.4	41 7.2	218 38.3	230 40.4
性別							
女	309 100.0	117 37.9	87 28.2	83 26.9	14 4.5	134 43.4	143 46.3
男	260 100.0	141 54.2	87 33.5	73 28.1	27 10.4	84 32.3	87 33.5
年代							
20歳代	66 100.0	24 36.4	27 40.9	24 36.4	8 12.1	22 33.3	28 42.4
30歳代	109 100.0	45 41.3	23 21.1	35 32.1	6 5.5	38 34.9	48 44.0
40歳代	100 100.0	46 46.0	26 26.0	24 24.0	4 4.0	37 37.0	40 40.0
50歳代	99 100.0	47 47.5	31 31.3	22 22.2	6 6.1	35 35.4	35 35.4
60歳代	91 100.0	41 45.1	32 35.2	27 29.7	8 8.8	46 50.5	36 39.6
70歳代以上	104 100.0	55 52.9	35 33.7	24 23.1	9 8.7	40 38.5	43 41.3
行政ブロック							
北海道	7 100.0	3 42.9	2 28.6	1 14.3	- -	4 57.1	4 57.1
東北	44 100.0	20 45.5	9 20.5	17 38.6	- -	11 25.0	20 45.5
関東	149 100.0	67 45.0	37 24.8	37 24.8	13 8.7	41 27.5	83 55.7
中部	119 100.0	54 45.4	36 30.3	38 31.9	5 4.2	54 45.4	50 42.0
近畿	124 100.0	64 51.6	40 32.3	33 26.6	12 9.7	42 33.9	42 33.9
中国	44 100.0	17 38.6	12 27.3	12 27.3	4 9.1	23 52.3	10 22.7
四国	15 100.0	4 26.7	3 20.0	2 13.3	2 13.3	5 33.3	7 46.7
九州	63 100.0	27 42.9	34 54.0	15 23.8	5 7.9	34 54.0	12 19.0
沖縄	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	- -	4 100.0	2 50.0

Q9 あなたは、被災地産食品を積極的に食べることにより、被災地を応援したいと思いますか。下から1つだけ選んでお答えください。

(上段は実数、下段は割合(%))

	全 体	応 援 し た い	ど ち ら か と い え ば 応 援 し た い	ど ち ら か と い え ば 応 援 し た く な い	応 援 し た く な い	わ か ら な い
全 体	787 100.0	300 38.1	346 44.0	50 6.4	41 5.2	50 6.4

性別

女	382 100.0	149 39.0	154 40.3	25 6.5	26 6.8	28 7.3
男	405 100.0	151 37.3	192 47.4	25 6.2	15 3.7	22 5.4

年代

20歳代	95 100.0	37 38.9	35 36.8	7 7.4	7 7.4	9 9.5
30歳代	143 100.0	58 40.6	64 44.8	7 4.9	8 5.6	6 4.2
40歳代	141 100.0	54 38.3	60 42.6	9 6.4	9 6.4	9 6.4
50歳代	143 100.0	53 37.1	60 42.0	8 5.6	9 6.3	13 9.1
60歳代	132 100.0	49 37.1	62 47.0	9 6.8	4 3.0	8 6.1
70歳代以上	133 100.0	49 36.8	65 48.9	10 7.5	4 3.0	5 3.8

行政ブロック

北海道	7 100.0	4 57.1	2 28.6	- -	1 14.3	- -
東北	57 100.0	25 43.9	23 40.4	3 5.3	4 7.0	2 3.5
関東	206 100.0	88 42.7	84 40.8	14 6.8	12 5.8	8 3.9
中部	174 100.0	56 32.2	83 47.7	14 8.0	6 3.4	15 8.6
近畿	160 100.0	61 38.1	68 42.5	7 4.4	10 6.3	14 8.8
中国	63 100.0	24 38.1	29 46.0	5 7.9	3 4.8	2 3.2
四国	26 100.0	8 30.8	11 42.3	2 7.7	3 11.5	2 7.7
九州	88 100.0	32 36.4	44 50.0	5 5.7	2 2.3	5 5.7
沖縄	6 100.0	2 33.3	2 33.3	- -	- -	2 33.3

Q10 あなたは、放射性物質が検出される食品の品目数や地域の広がり、今後どうなるとお考えですか。下から1つだけ選んでお答えください。

(上段は実数、下段は割合(%))

	全 体	減 少、 縮 小 す る	ど ち ら か と い え ば 減 少、 縮 小 す る	現 在 と か わ ら な い	ど ち ら か と い え ば 増 加、 拡 大 す る	増 加、 拡 大 す る	わ か ら な い
全 体	787 100.0	65 8.3	161 20.5	131 16.6	243 30.9	114 14.5	73 9.3
性別							
女	382 100.0	22 5.8	67 17.5	61 16.0	134 35.1	56 14.7	42 11.0
男	405 100.0	43 10.6	94 23.2	70 17.3	109 26.9	58 14.3	31 7.7
年代							
20歳代	95 100.0	7 7.4	24 25.3	17 17.9	23 24.2	14 14.7	10 10.5
30歳代	143 100.0	11 7.7	28 19.6	26 18.2	36 25.2	30 21.0	12 8.4
40歳代	141 100.0	14 9.9	23 16.3	25 17.7	40 28.4	23 16.3	16 11.3
50歳代	143 100.0	11 7.7	21 14.7	19 13.3	55 38.5	23 16.1	14 9.8
60歳代	132 100.0	9 6.8	35 26.5	21 15.9	41 31.1	15 11.4	11 8.3
70歳代以上	133 100.0	13 9.8	30 22.6	23 17.3	48 36.1	9 6.8	10 7.5
行政ブロック							
北海道	7 100.0	- -	1 14.3	- -	4 57.1	1 14.3	1 14.3
東北	57 100.0	5 8.8	8 14.0	12 21.1	17 29.8	11 19.3	4 7.0
関東	206 100.0	13 6.3	33 16.0	34 16.5	78 37.9	26 12.6	22 10.7
中部	174 100.0	19 10.9	40 23.0	28 16.1	43 24.7	32 18.4	12 6.9
近畿	160 100.0	9 5.6	41 25.6	25 15.6	48 30.0	19 11.9	18 11.3
中国	63 100.0	8 12.7	11 17.5	12 19.0	17 27.0	7 11.1	8 12.7
四国	26 100.0	1 3.8	5 19.2	5 19.2	7 26.9	5 19.2	3 11.5
九州	88 100.0	10 11.4	20 22.7	15 17.0	27 30.7	12 13.6	4 4.5
沖縄	6 100.0	- -	2 33.3	- -	2 33.3	1 16.7	1 16.7

巻末資料

「食の安全に関する消費者の意識調査」設問表

問1 放射線が人体に与える影響について、下から知っているものをいくつでもあげてください。

- (ア) 人体の外にある放射性物質からの放射線を受けることを「外部被ばく」といい、空気、水、食物などを摂取して体内に取り込まれた放射性物質から放射線を受けることを「内部被ばく」という。
- (イ) 人体において細胞分裂が盛んな組織である造血器官、生殖線、腸管、皮膚などに一度に大量の放射線を受けた場合、数週間以内に障害が起きる。
- (ウ) 少量でも長期的に一定量の放射線を受けることで、細胞の中のDNA等が損傷し、将来的にがんや白血病を発症する確率が高まる。ただし、発症するかどうかや発症時期には個人差がある。
- (エ) 放射線の影響は、大人よりも細胞分裂が活発な乳幼児・子ども・妊産婦(胎児)のほうが受けやすい。
- (オ) 体内に取り込まれた放射性物質は、体内で一部血中に入り、呼吸や汗、あるいは便や尿の排せつにより体外に排出される。放射性物質の種類によっては、骨や特定の臓器に蓄積して長期間残留し、「内部被ばく」が続く。
- (カ) 口から摂取された放射性ヨウ素は容易に消化管から吸収され、血中に入った後、30%は甲状腺に蓄積し、残りは体内から排せつされる。
- (キ) 放射性セシウムが体内に入った場合、残存する量は約3ヶ月で半減する(50歳の場合)。特定の臓器に蓄積する性質はない。
- (ク) 母体が摂取した放射性ヨウ素の4分の1程度が母乳中に分泌されると推測されるが、確定的なことはわかっていない。
- (ケ) 私たちは日常生活の中でも自然放射線によって「外部被ばく」と「内部被ばく」をしている(世界平均で1年間1人当たり2.4ミリシーベルト)。

問2 食品に含まれる放射性物質については、原子力安全委員会が提示した指標を基に、厚生労働省により食品中の放射性物質に関する「暫定規制値」が定められています。例えば、野菜類に含まれる放射性セシウムについての暫定規制値は500ベクレル/kgです。この数値を上回る食品は、食用にすることができません。

暫定規制値を超える放射性物質を含む食品が、地域的な広がりをもって見つかった場合に、放射性物質を含む食品の摂取による内部被ばくを防止するために、その食品の出荷が制限されます。

あなたは、このように放射性物質を含む食品の出荷制限が行われていることをご存じでしたか。下から1つだけ選んでお答えください。

- (ア) 内容を知っていた
- (イ) 出荷制限という言葉聞いたことはあるが内容は知らなかった
- (ウ) 出荷制限という言葉聞いたことがない

問3 食品に含まれる放射性物質の量を監視する検査は、東日本を中心に、各地でほぼ毎日行われており、その検査結果に応じて、新たな品目の出荷制限が設定されたり、それまでの出荷制限が解除されたりしています。

あなたは、この調査に回答している時点で、日本のどの地域のどのような食品に出荷制限が設定されているかご存知ですか。下から1つだけ選んでお答えください。

- (ア) 出荷制限対象地域・品目の全部または一部を知っている
- (イ) 今覚えていないが、どうやって出荷制限対象地域・品目を調べればよいか知っている
- (ウ) 出荷制限対象地域・品目を知らないし、どうやって調べればよいかもわからない

問4 (問3で(ア)(イ)と回答した方がお答えください。)あなたは、出荷制限されている食品の品目と地域についての情報をどこから得られていますか。下からいくつでもあげてください。

- (ア) インターネット
- (イ) テレビやラジオ
- (ウ) 新聞や雑誌
- (エ) 広告やチラシ
- (オ) 地方自治体からの広報資料
- (カ) 地域自治会の回覧板
- (キ) 友人や知人
- (ク) その他

問5 あなたは、普段の買物で食品を購入する際に、政府や地方自治体が発表する出荷制限・解除に関する情報を確認していますか。

- (ア) 必ず確認してから買物に行く
- (イ) 情報に気付いたときは確認する
- (ウ) 売場にあるものは安心だから気にしていない
- (エ) そもそもそのような情報は気にしていない
- (オ) わからない

問6 あなたは、現在、政府が行っている食品中の放射性物質に関する検査と、その結果に基づく出荷制限の設定・解除についてどう思われますか。下からいくつでもあげてください。

- (ア) 出荷制限により、市販されている食品は安全だと考えられる
- (イ) 出荷制限対象地域において出荷管理が徹底されているか不安がある
- (ウ) 検査漏れにより暫定規制値を超える放射性物質を含む食品が出荷されている可能性がある
- (エ) 海外において日本産食品の安全性に対する信頼を得ることができる
- (オ) 海外において日本産食品の安全性に対する信頼を得るには不十分
- (カ) その他

問7 あなたは、普段の買物で食品を購入する際に、その食品がどこで生産されたかを気にされますか。下から1つだけ選んでお答えください。

- (ア) 気にする
- (イ) どちらかといえば気にする
- (ウ) どちらかといえば気にしない
- (エ) 気にしない
- (オ) わからない

問8 (問7で(ア)(イ)と回答した方がお答えください。)あなたが、その食品がどこで生産されたかを気にされるのは、どのような理由からでしょうか。下からいくつでもあげてください。

- (ア) 産地によって品質(味)が異なるから
- (イ) 産地によって鮮度が異なるから
- (ウ) 産地によって価格が異なるから
- (エ) ブランド価値のある特産品を買いたいから
- (オ) 自分が住んでいる地域など、特定の地域の食品を買いたいから
- (カ) 放射性物質の含まれていない食品を買いたいから

問9 政府は、東日本大震災の被災地及びその周辺地域で生産・製造されている農林水産物、加工食品を積極的に消費する取組を、「食べて応援しよう!」というキャッチフレーズで進めています。

あなたは、被災地産食品を積極的に食べることにより、被災地を応援したいと思いますか。下から1つだけ選んでお答えください。

- (ア) 応援したい
- (イ) どちらかといえば応援したい
- (ウ) どちらかといえば応援したくない
- (エ) 応援したくない
- (オ) わからない

問10 あなたは、放射性物質が検出される食品の品目数や地域の広がりは、今後どうなるとお考えですか。下から1つだけ選んでお答えください。

- (ア) 減少・縮小する
- (イ) どちらかといえば減少・縮小する
- (ウ) 現在とかわらない
- (エ) どちらかといえば増加・拡大する
- (オ) 増加・拡大する
- (カ) わからない